

国  
文  
学  
国  
語  
学  
篇

# 「上毛新聞」文芸関連記事リスト【8】

昭和5年(1930)4月～昭和6年(1931)3月

市川祥子

※「上毛新聞」の中から、小説・詩歌等

の創作と、文芸に深く関わりと考えられる評論とをリストアップした。今回は、昭和5年(1930)4月から昭和6年(1931)3月を対象とした。

※①は第一面であることを、朝①は朝刊の第一面であることを、夕①は夕刊の第一面であることを示す。

※連載は初回のみを示し、( )に終了日と回数とを付した。

※(1)は第一回であることを示す。

※\*は判読が不能であることを示す。

昭和5年(1930)4月

1日(火)

夕②忘れられない楽しかった三年間 帰国したケーン女史が本紙を通じて皆様にお便り

夕③教育に関する新運動と其の理由 教育が実社会の進運に伴はざる場合に起る 中沢留(談)

2日(水)

朝④スキー漫談 鹿沢温泉にて(1) 金井勝三

郎

(4月6日)

夕③大切な入学期と児童教育の将来 最初の習慣が大切である 母親としての注意

夕③華道大会を顧みて(3) よき一門に恵まれた幸福者 栄松斎井田一寿

夕③世は挙げて実質的な近代婦人を待望一貫した主義主張を持つて進歩を図れ 吉岡弥生(談)

3日(木)

朝③女教員懲戒免職 男教員との醜関係に県下教育界始めての処分 相手の男も直ちに辞職す 世間に申訳ないと女師附属当局語る

夕③民心を統一して国家は伸長す 邪道を排すべし、自由は尊ぶべし 新渡戸稲造(談)

夕③華道大会を顧みて(4) 東洋趣味を没却せず 現代生活様式に相応しい華が望ましい 保真会長 小屋招月庵(談)

夕③国家の政治はビジネスです 中原の鹿を逐ふ等は以ての外 鈴木文史朗(談)

5日(土)

夕③子供の体質と運動の選び方 烈しい運動

は発育を妨げ易い 病弱性の者は安静に

内務省社会局 谷口政秀(談)

夕③華道大会を顧みて(5) いまし県下のであつて欲しい 日本橋遠州流宗家 長井一枝(談)

夕③素質よき社会を建設せよ 秋葉馬治(談)

夕③日本婦人は矢張り日本服 洋装全盛から和装全盛へと流行は進むでせう

6日(日)

夕③お下駄の鈴「詩」 青柳花明

夕③紅椿 主として大槻三好君に 清水房之丞

夕③童謡詩人会 漸く創立さる

夕③春、雲雀「詩」 岡部宇一郎

夕③遊行「短歌」 伊勢大宮にて、二見にて、朝熊山にて、大井のダムにて、彦根にて 吉井忠男

夕③公園の朝「短歌」 大塚佳一

夕③送別歌会 鈴木嘉納女史のため「短歌」 藤岡林城、伊部龍作、藤倉肇、島田よし子、鈴木嘉納女、石原安近、笠原さわ子、南大樹、新井外一郎、亀井せき子

## 8日(火)

夕③生活根底ありて人格陶冶が出来る 実務教育の振興は現代社会の解決鍵 中央職業紹介事務局 田中加川(談)

夕③凡ての母性よ愛して而も溺るな 盲目なる母性愛は子供を墮落せしむ 東洋大学教授 関寛之(談)

## 9日(水)

朝④自動車の常識(1) 日本ゼネラル、モータース会社、サービス部長 フランク、モラーン (5月29日(2))

夕③不経済極まる日本のお台所 調味料よりも自然の味を 日本赤十字病院の調査

夕③知識と信仰と真の宗教に就て 高島米峰(談)

夕③投入れや盛花も生活との調和を 花の美を更に価値つけて 松玉斎 永井理鷹(談)

## 10日(木)

夕③福田浩湖氏の作画頒布「広告」

夕③労資協調と社会政策の本義 産業の開發は文化の向上の源 林葵末夫(談)

## 11日(金)

夕③非人道的な公娼制度を呪へ 文化発達の現代に残る醜悪制度 廃娼聯盟委員長 松宮弥平(談)

夕③罪業の深きを知りて念仏の心生る 自力

我慢の心では安心立命は出来ぬ 富士川 游(談)

## 12日(土)

朝④国産奨励とボスターの宣伝 英国の国産奨励宣伝 日本では調査に手間取る 井上蔵相(談)

夕③婦人を悩ますヒステリーの原因 主として不断の心労 増田次郎(談)

夕③絵画と詩趣 大津城以知路(談)

夕③女子よ起ちて誘惑に打ち克て 婦女の弱点は縋る心 先づ強き意志を養へ 下田次郎

## 13日(日)

朝②早川雪洲帰る 暴力団の侵入説に警官に護衛されて上陸

夕③童謡春光集 群馬童謡詩人会「童謡」(1) このごろ、尺とり虫 青柳花明

夕③「何が彼女をさうさせたか」合評(1) 参加者・中原、根岸、藤島、武井、桑原、若井、中島 (4月22日(3))

夕③民謡集「落葉」について 佐々木緑亭

夕③いなめのめ会「俳句」 青楓、赤陽子、茂樹、歌男、如友、燕、桜舟、春楓、杏人、仲春、楚水

夕③いかほ風「短歌」 塚越麗一

夕③芽ぶき「短歌」 船津重雄

夕③春唱「短歌」 松浪幸三郎

夕③春「短歌」 岸とらを

## 14日(月)

朝②郷土研究会 遺跡展観きのふ国府で

朝③国分寺の遺物 一昨日展観 考古会は總會を

夕③人口食糧問題と国際的關係 今日の世界 經濟に於て一國消長の影響はどう 東大教授 那須皓(談)

夕③結核に罹り易い腺病質の特徴 都会児に多く 鋭性鈍性に区別す 竹内薫兵(談)

## 16日(水)

朝③女子青年団が前橋に産声を揚ぐ 女性相互の徳性涵養上市の当局も大乗氣

夕②虐げらるゝ卅万人の糸繰り姫に福音 臨時には解雇手当を支給させ最低賃銀制度を設ける

夕③生活改善の根本は内面生活の充実 人間生活の尊さは精神生活にある 棚橋源太郎(談)

夕③小学児童から禁酒教育を

夕③断髪が伸びた時實際の知識 切るに惜し いし結髪に短い場合 メイ牛山(談)

夕③乳幼児は誕生頃迄に母乳を止めなさい 難かしい離乳の秘訣に就て(1) (4月18日(3))

## 17日(木)

朝②警視庁で検挙した職業婦人や未亡人何れも花柳病有毒者 管下に通牒嚴重に取締 励行

朝④看過されたる女子補習教育振興 女子教育の根本刷新に伴ふ具体的方策を講究

朝④農漁村に於ける医療機関普及 社会政策

見地から見て重大なる問題

朝④女教員大会で男教員と差別撤廃 政治結社加入等を議題に協議 六月十四日から開催

朝④実話レビュー 高原心中「小説」(1) 泰賢助、鈴木三郎他「画」(5月10日)(20)

夕②女闘士の当選が祟り一騒ぎ持ち上る 町会憤慨、近く助役不信任決議 沼田町に家調戦の飛沫

夕③国際平和の源は徳義心 智識と道義は車輪の如し 渋沢栄一(談)

夕③木の芽生時の神経衰弱と肺結核 田沢鏝二(談)

18日(金)

朝②思想禍学生の復校は適宜許可す 改悛の情、顕著な者から

朝④朝鮮に内地人 教員採否問題起る 朝鮮公立学校父兄会の決議と全道への影響

夕③食糧問題解決鍵は科学と愛の力 平和の科学の戦線を躍進せしめよ 陸軍省衣糧課長 丸本彰造(談)

19日(土)

朝④失業問題対策と鮮人労働者移入 内地労働者の失業苦を益々深刻化する

夕②前橋点景(1) 帝国館横町 柳芳太郎、関口高二郎「画」(5月6日)(10)

夕③日本人を待つ海外の好適地 生活の安易な楽天地 どうすれば渡航出来るか

夕③子供の好む職業に親の干渉は絶対禁物

遊ばせず苦勞させるがよい

20日(日)

朝④安達内相も賛成 婦人公民権附与提案内務省方面には尚早論 衆議院では全院賛成か

夕②前橋点景(2) 新装の白首街 柳芳太郎、関口高二郎「画」

夕③日々現はれる健康と睡眠の関係 睡眠は充分に取つて欲しい 浅田一(談)

夕③移居記念句会「告知」 狩野桜舟氏移居につき二十日いなめ句会

22日(火)

夕②前橋点景(3) 久留万橋々畔 柳芳太郎、関口高二郎「画」

夕③食糧経済と国民の健康 衛生と経済から見た児童生徒の咀嚼問題(1) 文部省学校衛生官 大西永次郎(談)(4月23日)(2)

23日(水)

朝②婦人公民権政民両党別個に提案して議会通过に努力 民政党は廿三日提出

朝④改革徹底させる婦人の社会教育 全国的に実情調査を行った上具体策樹立

夕①英詩壇の巨星ブ氏逝去す

夕②前橋点景(4) 三ヶ町の焼跡 柳芳太郎、関口高二郎「画」

夕③西條八十作詞の「蚩草」の主題歌成る

夕③文化に伴はぬ日本人の公衆作法 設備の不完全もあるが社会的訓練が足りない

土肥修策(談)

24日(木)

朝③桐生婦人会 有志夫人が組織

夕③よき童話は児童の生命の糧 本多但々子(談)

25日(金)

朝④婦人公民権と反対党の態度 人気取策は不快 斉藤内務政務官(談)

夕②前橋点景(5) 停車場通り

夕③道徳は方便で宗教は真実の教 親鸞聖人は道徳を方便権仮の教と云つた 富士川游(談)

夕③無邪気な心へ情操的教育を 就寝前にはしんみりと子供と語り合つて下さい

26日(土)

朝③教育の向上改善に研究発表大会 教育勅語下賜四十週年の記念事業に県教育会計画

朝④小作立法に於る小作権確立問題 争議を防止する為最も適当なる立法

夕③結核予防には国民の自覚を要す 毎年十数万の死亡者 現に百数十万の患者 内務省衛生局長 赤木朝治(談)

夕③婦人参政の機運来る 今一步の努力に完全な目的を達せられる

27日(日)

夕②前橋点景(6) 大赤城の関門 関口高二郎「画」

夕③春を語る 島岡利二

夕③思ひ出「詩」 小野忠孝

- 夕③春の日なが 綿貫六助  
夕③文芸・映画 佐藤雪夫  
夕③童謡春光集 群馬童謡詩人会〔童謡〕(2)  
男の子 小野吉郎／朝雨 青柳花明／桃  
畠 青羽春夫
- 夕③春の華蔵寺〔詩〕 岡部宇一郎  
夕③「南部のお太福」を読む 西川林之助  
29日(火)  
夕②前橋点景(7) 銀座横丁 関口高二郎〔画〕  
夕③天長の佳節に当り三行の実行を提唱す  
陸軍中将 井上二次(談)  
夕③婦人公民権が与えられた場合 市町村会  
議員には堅実な家庭婦を選べ 吉岡弥生  
(談)
- 昭和5年(1930) 5月  
1日(木)  
朝④関係法規を改正 学生思想警戒 公私立学  
校にも警察網を張つて万全を期す  
夕②前橋点景(8) 前橋勢多の境 関口高二郎  
〔画〕  
夕③婦人公民権案通過の輿論を捲き起せ 婦  
人の向ふべき道に光明は近し 婦選権獲  
得同盟幹事 金子しげり(談)
- 2日(金)  
朝③井之川(知白) 画伯作品展開く  
夕②島田清次郎氏 保養院で狂死す 淋しい嘲  
笑の後半生  
夕③経済上に於ける国防を提唱す 舶来品亡  
国、国産品奨励 国民総動員の国防策 海  
軍中将 佐藤鉄太郎(談)  
夕③教育問題 岸辺福雄(談)  
夕③小児結核は家庭悲劇の好話材(1) 中島了  
介(談) (5月7日(4))  
3日(土)  
朝③二十五歳以上の女は同年の男よりも多い  
婦人に公民権が附与された場合を年齢  
別に見た数学的資料  
朝④地主も困り抜く小作争議傾向 抗争戦術  
益巧妙となり地主側も逃避的傾向  
夕③早期結核患者の療養所を建設せよドイ  
ツでは好成绩を挙げてゐる 北島多一  
(談)
- 4日(日)  
朝④問題視される商業労働時間 社会局対策  
を研究 保護法規を制定か  
朝④効果を認められた教化映画宣伝 昨年末  
の教化総動員に於ける実験の結果  
夕②前橋点景(9) 前橋中学校 関口高二郎  
〔画〕  
夕③若葉〔短歌〕 吉田緑泉  
夕③海の歌〔短歌〕 田島武夫  
夕③「青い手帖」読後 岡部宇一郎  
夕③憂鬱の空〔詩〕 神山木石水  
夕③土臭く無い 藤島鶴三郎  
夕③渋川登記所に句碑建立 高橋香山  
夕③徂春集〔短歌〕 峡の村より 鈴木葦舟／  
緊縮反映篇 桑原時雨／晩春 松浪幸三  
郎／時雨の音 河原峽司
- 夕③さくろ社歌会〔短歌〕 九十九歌子、伊部  
龍作、杉本正士、松村朝子、太田麗雨、  
小沢義太郎、天野美沙緒、大友農夫寿、  
志村つとむ、高木歌生、深沢、大友朱実、  
古屋栄吉、金子宗作、福本研、青木多三  
郎、野口洋子、篠田  
夕③いなめ会〔俳句〕 仲春、歌男、楚水、  
赤陽子、木人、杏人、桜舟、吐秋  
5日(月)  
朝③蒙古婦人は貞操観念が薄い 男より女に  
権力がある 外蒙古に九年滞在の児島氏  
談  
朝③初夏の上毛楽壇を賑はす永井郁子女史独  
唱会 十八日柳座の演奏を振出し高崎桐  
生伊勢崎藤岡各地で上毛新聞社主催の  
音楽の夕〔告知〕  
6日(火)  
夕②前橋点景(10) マツテア協会 関口高二郎  
〔画〕  
夕②今孫手するくくと現はれ出でた矢島翁  
青葉に五月の風薫る観音山頂にけふ盛  
大なる除幕式典  
夕③精神病は春期に多い 早期の治療が必要  
自家治療はよくない  
夕③吹流し〔俳句〕〔書〕 臼田亜浪  
夕③秋の句会〔俳句〕 止風、路石、鶏助  
7日(水)  
朝④間断なく監視する左傾学生行動 就職後  
にも当局の眼

- 夕② 印度に激戦起る 死傷百五十余名の多き  
に及ぶラングン附近の人心恟々 ガン  
デー氏捕はれ形勢は益悪化 陣頭に叫ぶ  
健気な夫人
- 夕③ 婦人参政権獲得は国家社会の幸福 婦人  
が国政に参与してこそ真の目的も達成す  
市川房枝(談)
- 8日(木)  
夕③ 児童雑誌愚考 教育家の奮起を望む 平  
田香堂(談)
- 夕③ 性享楽を目的の友愛結婚を排撃す(1) 早  
大教授 帆足理二郎(談) (5月9日(2))
- 9日(金)  
夕③ 子供の神経質と保護者の心得 如何にす  
れば防止し治す事が出来るか 金子準二  
(談)
- 夕③ 言葉使ひ一つで家庭が直ぐ窺はれる 岡  
村慶子(談)
- 夕③ ルバへの話 台湾生蕃伝説から「童話」  
(1) 林静夫 (5月15日(4))
- 10日(土)  
朝④ ガンデーの逮捕  
朝④ 愈々具体化する政治教育方策  
朝④ 今秋開かれる国際民俗芸術会議  
夕② 敵も味方も腹の中は「どうでも好いや」  
……「満員の婦人傍聴席の緊張も他処  
に婦人参政案片づけられる  
夕③ 趣味の低下を語る社会人の実相 調度品  
でも其の人の素養が判る 定田祿造
- (談)  
夕③ 初夏の化粧 顔・髪形で異なる肩すみの引  
き方 一寸の注意が肝要 山野千枝子  
(談)
- 11日(日)  
朝④ 実話レビュー 伊藤博文「小説」(1) 泰  
賢助、鈴木三郎他「画」(6月22日(36))  
朝④ 台湾島を一周して(1) 清水留三郎  
(5月24日(10))
- 夕② 例年の通りに婦人、成年の両講座 今年  
も開催される  
夕③ 坊や「短歌」 大槻三好  
夕③ 若葉山ゆき「短歌」 船津重夫  
夕③ 村上茂真呂氏を悼む 浦上山夫  
夕③ あの頃の素描(1) 飛驒一郎  
(6月22日(7))
- 夕③ 俳諧漫言 村山十九  
13日(火)  
朝③ 各方面で絶大な期待 永井郁子女史独唱  
会 期日切迫と共に人気沸騰 上毛新聞社  
主催の音楽の夕  
夕③ 意外に思はれる農村住民の健康 都会住  
民より却つて不良 内務省衛生局調査  
夕③ 躍進する新日本文化 欧化主義を脱して  
自主的創造の時代へ 倉橋藤次郎(談)  
夕③ 不良児矯正は萌芽を早期に知り先づ少年  
審判所を利用せよ
- 14日(水)  
朝③ 仏都巡礼(1) 袖をひかれて善光寺様を御  
参詣 手に賽銭を汗ばめながら 先づは大  
勸進から駈けある記 前橋婦人会 吉例春  
の行事 柳、難波モリオ「画」  
夕① 印度を指導すべく女詩人陣頭へ ガンデ  
氏の後継者にと非壮な反英不服従抗争  
夕② 本県産の文豪花袋氏危篤 喉頭癌が再発  
して 恢復は全く絶望に陥る  
夕② 我文壇の恩人 長谷川(談)  
夕③ 農繁期に於ける託児所の急務 能率増進  
上等閑視出来ぬ施設 東京高師教授 倉  
橋惣三(談)  
夕③ 主婦の家政で収入の缺陷を償へ 主婦の  
消費合理化は社会問題への一光明 日本  
女子大学教授 井上秀子(談)
- 15日(木)  
朝③ 仏都巡礼(2) さすがに仏都 お釈迦様の花  
祭に全町民が三日間ぶつ通して騒ぐ 直  
江津町夜の情景見物 前橋婦人会旅の寄  
せ書 柳、難波モリオ「画」  
夕② 田山花袋氏つひにきのふ逝く 葬儀は十  
六日仏式で 遺骸は遺志で多摩墓地へ埋  
葬 花袋氏の筆跡と最近の写真  
夕③ 敵愾な死 白石氏(談)  
夕③ 善い事をしたと思ふ時内省せよ 自心を  
恃む時は虚偽を離れ得ぬ 富士川游  
(談)  
夕③ 精神変質者はこんな風に分類される 神  
経質から恐怖迄
- 16日(金)

- 朝③ 仏都巡礼(3) 男も尾をまく 越後婦人の勇躍振 大きな教訓をお土産に 帰心は矢の如くに前橋へ 前橋婦人会旅の寄せ書  
柳、難波モリオ「画」
- 夕① ガンヂと国産主義 印度何故に外国織物を駆逐せざるべからざる(1) 小松晋助  
(5月18日(3))
- 夕③ 初夏話題 忠臣節婦も解釈の仕方一つ 十一谷義三郎(談)
- 夕③ 音楽雑筆(1) 永井郁子 (5月17日(2))  
17日(土)
- 朝② 田山花袋氏告别式きのふ仏式で  
夕③ 婦選獲得以前に婦人のなすべきこと 婦選の効果を顕し得る自信を作れ 鈴木文史郎(談)
- 夕③ 王様を救った五人の男の子「童話」(1) 堀越順平、原島菊雄「画」  
(5月6日(15))
- 18日(日)
- 朝③ 音楽界の尖端を歩む永井女史独唱会 柳座に於いて昼夜2回 愈々けふ開演  
朝④ 産業合理化に婦人の自覚を促す 外国の例に徴し実現要望 安達内相(談)
- 夕③ 栄養上から見た米穀貯蔵問題 生活及營養問題から此の方面の研究を要す 小林義雄(談)
- 夕③ 長野原「短歌」 米川寥  
夕③ 詩歌雑誌「蠟人形」 西条氏主宰で五月創刊さる
- 夕③ 民謡行進「民謡」心嬉しい 佐々木緑亭 / 髪毛 畑中正澄 / 五月の故郷 笠井克悦  
19日(月)
- 朝③ 満堂の聴衆を魅了した玉を転ばす美音 本社主催永井女史独唱会きのふ柳座の盛況  
朝③ 女の国、上州へ 婦選獲得同盟進出 職業婦人を中心にして前橋支部創立準備委員会開く  
20日(火)
- 朝② 永井郁子女史邦語独唱会 二十日は藤岡町、電気館にて  
朝② 拍手また拍手 永井女史独唱会 高崎市も空前の盛況 本社主催第二日目  
朝③ 受難の印度向織物 生れ出づる悩みの印度更生 印度は何処へ行く(1) 小松晋助  
(5月21日(2))
- 夕③ 現代生活と夫婦共稼ぎの場合 自由に明るく合理的に夫婦が向上出来る 木内きやう子(談)
- 夕③ 産児の宮詣りに伴ふ色々の弊害 親達の虚栄の犠牲 衛生的に見ても有害 棚橋源太郎(談)
- 21日(水)
- 朝③ 上毛新聞の大飛躍十三段制を採用  
朝④ 景気付けに国民精神作興 国産品愛用運動を機に内務省の方策  
夕③ 不合理極まる我が国の結婚制度 男子の専横は婦人の覚醒によつて 尾崎行雄(談)
- 22日(木)
- 夕② 藤岡町に於ける永井女史独唱会 純真な詩の国に夢を結ぶ  
夕③ 過渡期に於ける服装の整理改善 婦人服に改むべき点が多い 土肥脩策(談)
- 夕③ 探検家のカメラマン他「漫画」  
23日(金)
- 夕② 伊勢崎を名残りの永井女史出演 さしもの大劇場満員の盛況を見た桐生の音楽の夕  
夕③ 不景気挽回策に国産品愛用を提唱 日用品だけの輸入額が実に六億六萬円に達す 国産奨励実行会長 滝脇宏光(談)
- 夕③ 密接の關係ある美容と感情 平素の修養で美人となり得る 小峯茂之(談)
- 24日(土)
- 夕③ 恐ろしい初夏 油断してゐて恐ろしい魔手に子供を誘拐されるな 警視庁防犯係 長後藤四万吉(談)
- 夕③ 誤認され易い健康と外見 肥った人、瘦せた人、顔色の蒼い人 赤い人 浅田一(談)
- 25日(日)
- 朝③ 前橋図書館の童話会が復活する 童話講演の盛況に力を得て毎月例会開催に決定  
朝④ 一般青年の思想傾向を調査  
夕③ 田山花袋氏とその作品 白石実三

- 夕③今後の文学形式 内藤透  
夕③無花果、床屋の鏡「詩」 瀬戸弘道  
夕③一重山吹 小野だいの子の霊に捧ぐ「短歌」  
須藤泰一郎  
夕③永劫 小野だいちやんのこと 小野忠孝  
夕③自動車の中「短歌」 青山丈夫  
夕③白玉椿 小野だいの子を悲しむ「短歌」 高橋平三郎  
27日(火)  
夕③風紀政策上より公娼廃止を叫ぶ闇に咲くべき花が社会の表面に出る 廃娼聯盟委員長 松宮弥平(談)  
28日(水)  
朝③お国自慢(1) 飛行機王 中島知久平氏  
朝④小学校児童にも産業組合思想を普及学用品の購買組合を設置  
夕③人口食糧問題と樺太移住開拓 最も容易に行ける 内地人を待つ 未開宝庫 山口千代子(談)  
夕③マキノ稲葉監督が「こんな奴を警戒しろ」 随所に見る 重厚なる階級意識  
29日(木)  
朝③お国自慢(2) 雑誌王 野間清治氏  
夕②壮丁検査の際に思想傾向調べ  
夕③不良少年問題 司法次官 小原直(談)  
夕④映画興行未曾有の撰採難に行話る トオキイ以外に何を求む  
30日(金)  
朝③われらの赤城山(1) 霧に洗はれる朝の遠望 登れば脚下に真盛りの深山つゝじ初夏の大赤城を探つて (6月1日③)  
朝③お国自慢(3) 国立公園候補菅沼 視敵重で殆んど手も足も出ぬ  
夕②闇に泣く女の生活に国際的の調査の手が及ぶ 本県の廃娼実行等を研究資料に注目する各種の団体  
夕④食糧自給自足と馬鈴薯常食問題 我国民の理想的食糧は米、麦、薯の併用にある 陸軍少将 石川潔太(談)  
31日(土)  
朝③お国自慢(4) 三波川村の寒桜  
朝③われらの赤城山(2) 大自然を俗化して行く 美しくしき名よ 文化的開発と施設  
夕③外界の変化は精神症状の変化 春から夏へかけて 金子準二(談)  
昭和5年(1930) 6月 1日(日)  
朝③お国自慢(5) 軍神貫前神社  
朝③われらの赤城山(3) 高山の山頂で都会的 味覚 情痴の巷と化したくない聖なる祭壇  
夕③狭野茅上娘<sup>さみのちがみのいらつめ</sup> 米川麥  
夕③いたづらな春、この花は「詩」 柳居青児  
夕③合唱雑感 坂本哲郎、坂本茂子詩集 清水房之丞  
夕③童謡麦穂集 群馬童謡詩人会「童謡」(1) 学校の帰り 小野吉郎／春のおやつ 青羽春夫／葱坊主、蜂 青柳花明 (6月29日③)  
夕③山と娘「詩」 岡部宇一郎  
夕③雨声会雑誌 参加者：関口巧、杉田健作、中島英助、橘家鍋藏、高橋清七、江原桂三郎、須藤泰一郎、島岡利二、茂木近之助、豊田宗作、大川吉蔵、関口高二郎、青木守、柳芳太郎  
夕③力強き歩み 原沢柳志  
2日(月)  
朝③お国自慢(6) 子育吞龍大光院  
3日(火)  
夕③経済国難を憂 失業苦、生活難、貿易不振 何れも国家的苦難 陸軍中将 奥平俊蔵(談)  
夕③児童を通じて家庭の国産品奨励 文部省消費節約宣伝に伴ひ普及徹底を図る  
夕③児童保健と林間学校の開設 高山真砂子(談)  
夕③再び蒲田が文芸物「罌粟はなぜ赤い」を映画化  
4日(水)  
夕②赤ちやん展と母の会を開く「時の記念日」の行事も決る 伊勢崎聯合協議会  
夕②遊戯の基調にも野武士的な感 芸術的に 淳化して行き度い 今泉講師の感想談  
夕③恐るべき狂犬病は畜主の自覚で撲滅 狂犬病は未開国程多い 狂犬になるまでの



- 経路 内務省技師 池上幸健(談)
- 夕③ 怠け者退治と子供役割 独逸少年の活動ぶり
- 朝③ 巷の一情景(1) (6月9日⑤)
- 5日(木)
- 夕③ 毒となり薬となる酒は百薬の長か恐るべき害毒あれど栄養上では有益です
- 夕③ 児童の保健上校医は専任たらしめよ 荒井信子(談)
- 6日(金)
- 夕③ 時代とともに変る美人の標準 現代では豊麗な肉体と精神美の輝きを要求す 林喜美子(談)
- 7日(土)
- 夕③ 運動家と食物 菜食者が優秀 体力持久に菜食主義 たゞ贅沢を節制せよ 秋山七郎(談)
- 8日(日)
- 夕③ 深溪逍遙(1) 綿貫六助 (6月15日②)
- 夕③ 歌集「紅椿」後読感 上田正路
- 夕③ あやめ草「短歌」 鈴木葦舟
- 夕③ 農民と音楽(農民の感情生活 永井郁子 女史) 原沢柳志
- 10日(火)
- 夕③ 女は弱いが母性の力は強い 子供の人格如何は母の力如何に依る 東洋大学教授 関寛之(談)
- 11日(水)
- 朝④ 百鬼夜行の日本語を近く統一無遠慮な
- 訳語の使用はならぬ 閣議で決定来月公布
- 夕③ 民主を救ふ道業を与ふるにあり 道徳的本質を長養する機会と余裕を与へよ 大川周明(談)
- 夕③ 伊勢崎俳句会「俳句」 郁生、桃源、小葉、陶二、白鳥、尹洲、愁果、無車、印刀子、秀華
- 12日(木)
- 夕③ 流行服装に見るキネマ時代 気取り屋のモガモガ 浅薄なアメリカ趣味
- 夕③ 幼児保護法 高山真砂子(談)
- 夕③ 森の踊り「童話」(1) 井上康文、犬塚蒼翠「画」 (6月20日⑦)
- 13日(金)
- 朝③ 外国製品は避けてわが製品を使へ 都会も村も、団体も個人もきのふ使用奨励委員会
- 朝③ 此の不景気に女工さん引ぱり 呷申込まれても供給不足 面白い一社会現象
- 朝④ 仕甲斐ない勉強 大学出の失業 中等卒業者の売口よろし 深刻を極むる失業告
- 夕② 工女さんの労働時間 来る九月からは短縮操業短縮のこの機運に乗じて実施を一ケ年早めて
- 夕③ 中途退学者の防止運動起る 米国に於ける其の実情
- 14日(土)
- 夕② 八丈、小笠原行(1) 塚本茂
- 夕③ 妊娠中は決して妻を叱るな 夫婦喧嘩をするな 嫁いぢめをするな (6月17日③)
- 15日(日)
- 夕① 財源の許す範囲内で国防計画を樹立 人の事 異動は特に慎重を期する 海相、部長の意見一致
- 夕③ 去勢者「詩」 多駄羅十吉
- 夕③ 生田春月氏逝く 多聞院葬儀場にて 小野忠孝
- 夕③ 童謡麦穂集 群馬童謡詩人会「童謡」(2) ちろちろ小川、小川の岸 青柳花明/野球をするんだ 小野吉郎/学校帰り、風車 大和丑朗
- 夕③ 高崎市の洋画展 新野敏一氏等の
- 夕③ 夕日「短歌」 青山丈夫
- 夕③ 春日山行「短歌」 伊部龍作
- 夕③ 梅雨ばれ「短歌」 清水もとみ
- 夕③ 初夏の高原「短歌」 湯根正之助
- 17日(火)
- 夕③ 農村衛生と人肥施用問題 糞便を如何に合理的に肥料化せしむるか 内務省衛生試験所技師 医学師 秋葉朝一郎(談)
- 夕③ 温泉の利用に国民の自覚を 保養と享楽を区別せよ 藤浪剛一博士(談)
- 18日(水)
- 夕② 衝突、流血騒ぎ相次ぎ汚された学園の神聖 警官隊包囲の裡に学生大会 手もつけられぬ日本大学

- 夕③「漫画」 関口高二郎、新保菊次、難波盛夫、石川義夫、一二三へ上毛漫画サロンへ
- 夕③高崎市の三人展を観る 柳
- 19日(木)
- 朝③群馬会館を飾る新田公の銅像 中島知久  
平氏の委嘱で 森村西三氏苦心製作此程完成
- 夕③失業群救済策 国内産業の振興と国産品奨励の外はない 内務省職業課長 川西実三(談)
- 夕③産児制限の時代的要求 相談所に現れたる婦人の切実なる叫び
- 夕③日本主義と俳句(1) 寺田弥吉(談)
- 20日(金) (〜6月21日(2))
- 夕③国産品奨励と使用者の立場 上流階級だけに通用 夫以下は現在も国産品 鈴木史朗(談)
- 21日(土)
- 朝④美名の仮面をはいだ保護団体の醜態 工場取締規則にも違反して預る少年を酷使する
- 夕③生活と節約 家庭経済の意義 婦人として 最も必要な家事経済の計理に就て 東京女高師 松平友子(談)
- 夕③故田山花袋翁追悼会を開く 参加者…江木翼、大橋進一、加納作次郎、上小司剣、久保田万太郎、久米正雄、窪田空穂、佐多芳久、島崎藤村、白石実三、千葉亀雄、
- 近松秋江、坪谷水哉、徳田秋声、長田幹彦、中村星湖、長谷川時雨、長谷川大溪、細\*\*吉、堀進二、水守亀之助、柳田国男、吉井勇諸氏等六十七名
- 22日(日)
- 夕③時代と感覚 吉井忠男
- 夕③蜜、あの手 失神した詩「詩」 栗原道子
- 夕③公園 岡部宇一郎
- 夕③見失った拾円札、一寸した悪戯 吉井忠男
- 夕③信州諏訪に遊ぶ「短歌」 茂木近之助
- 夕③苔、若葉林、八斗島河原「短歌」 松浪幸三郎
- 夕③故郷「短歌」 岸とらる
- 夕③梅雨のことも「短歌」 篠原三郎一
- 夕③松崎仲雄君の墓に「短歌」 北勘六
- 24日(火)
- 朝②国民素質の改善に産児調節問題 けふ民族衛生委員会審議
- 朝④実話レビュー 令嬢殺し「小説」(1) 泰賢助、鈴木三郎他「画」(〜7月23日(25))
- 夕③家庭教育に対する母性の責任 子女の教育を学校のみならずの弊 山田わか子(談)
- 夕③少年科学 暑い！熱い！太陽の話
- 25日(水)
- 朝④不良少女激増で女子感化院設置 手に負えぬ者が増加 時代の罪か人の罪か
- 夕②孝子節婦等の実話を題材の映画普及 今
- 秋の記念事業の一新方法に筋書を懸賞で募集する
- 夕③「漫画」 関口高二郎、新保菊次、難波盛夫、一二三、田村雪児
- 夕③上毛麻雀欄開設に就て「告知」
- 夕③水曜講話 南洋に遊びて 彼地に於ける邦人、土人の生活 貴族院議員子爵 三島章道(談)
- 26日(木)
- 夕③造化の神の意図 男と女の体質 体質から見た男と女の天職
- 夕③子を叱るには亢奮を鎮めて
- 27日(金)
- 夕③少年の犯罪は精神変質者に多い 家庭内の生活状態が少年の犯罪に影響す 多摩少年院医官 谷貞信(談)
- 28日(土)
- 朝③榛名山美術研究所を設立し産業の美術化を図る 竹久夢二氏の計画 きのふ湖畔に敷地を実地踏査す
- 朝③群馬県人ではないが親しみ深い此の国のために努力したいと竹久夢二氏は語る
- 朝③夢二君の計画はその絵の如く美しくそして芸術的だと有島生馬氏の礼讃
- 夕③少年の前途に光明を与ふるは誰 理解ある第三者の指導判定を必要とす 田中寛一(談)
- 29日(日)

- 朝③ センタントピックス かくし言葉にもモダン振り 素敵なところを二つ三つちよつと御披露
- 朝③ 教育映画資料に筋書をつのる 今秋の全国的記念事業に県聯合青年団でも
- 朝④ 中等学校の思想問題対策 読書傾向を注意し教師の選衡を厳にす
- 朝④ 知識階級の就職難深刻 高等遊民は益々増加 紹介所四月中の実績
- 夕③ 榛名山素描「画」 竹久夢二
- 夕③ 緑蔭随筆 洗湯とビール 須藤泰一郎
- 夕③ 童謡麦穂集 群馬童謡詩人会「童謡」(3)
- 又来てね 想ひ出の頃の幼女の声を柳芳太郎氏に 小野吉朗／細いつき 大和嶺 坡／川遊び 青柳花明
- 夕③ 紅椿寸感 大槻松枝女史著 清水房之丞
- 夕③ 植原氏の近業 時計グラフを市間に問ふ
- 夕③ 文学・主として詩に関する覚書 佐谷守
- 夕③ デス・マスク 大槻三好
- 夕③ 宵待草(梅津泰助氏へ) 「短歌」 篠原 三郎一
- 夕③ 夏雑歌「短歌」 上谷榛吉
- 30日(月)
- 朝③ 赤城採集録 竹久夢二
- 朝③ 赤城素描「画」 竹久夢二
- 昭和5年(1930)7月
- 1日(火)
- 夕① 相続関係について女の権利拡張 改正民法の相続編 今秋迄には全部脱稿
- 夕② 浅間の高原に新しい薬師温泉
- 夕② 鬼産婆の手に掛つて消えた命、十五押入の奥からは惨ましい白骨 又もや発覚した此の惨事 日光浴と名をつけて雀の子の様な取扱ひ ハンモックに入れて日干し 合法的に死亡させる 隠れ部屋を設け 臨検を免かる 証拠書類は天井へ隠匿 怖ろしいこの犯跡
- 夕③ 感ずべき独逸の幼児保護施設 日本の様な貫子惨殺事件等は絶対に起らぬ 侍医 田中孝一(談)
- 2日(水)
- 朝④ 世相悪化に伴ひ官公吏の犯罪増加す 地方官の意見を参酌 近く取締対策を通牒
- 夕③ 「漫画」 関口高二郎、新保菊次、難波 盛夫、石川義夫、亀井カクタロー
- 夕③ 水曜講話 純東洋趣味の盆石の妙趣 最近では外人の趣味生活内にも這入つた 細川流盆石家 林梅圃(談)
- 3日(木)
- 朝③ 赤城の印象 有島生馬
- 朝③ ガラスと鉄の建築時代も将来は来やう 尖端的芸術は建築美に
- 夕③ 夏に多い脚気と主食米に就いて 胚芽は栄養素を含有す 藤巻良知(談)
- 4日(金)
- 夕① 思想善導問題で三高盟休突発 非自由化に反対決議
- 夕③ 登山の興味は山頂から溪谷へ 処女性の井川溪谷 甲斐山岳会 平賀文雄(談)
- 5日(土)
- 夕③ 味覚を刺戟する夏果物の芳香 銀座千疋屋主人 桑原奥次郎(談)
- 夕③ 神秘の扉を持つ山岳と誘惑 文豪ロマン・ローランは云ふ「雄躍せよ突破せよ、休む勿れ」
- 6日(日)
- 夕③ 街頭音楽 島岡利二
- 夕③ 初雷「詩」 栗原道子
- 夕③ 群馬童謡帳 群馬童謡詩人会「童謡」(1)
- 日暮田圃二篇 青柳花明／雨の降る日 高木光夫
- 夕③ 波のまにく「詩」 林正美
- 夕③ 渡り鳥の疲労(1) 吉井忠男
- 夕③ いなのめ会「俳句」 香山、赤陽子、如友、歌男、止風、木仏、路石、吐秋、青楓、仲春
- 夕③ 月見草「短歌」 鈴木葦舟
- 夕③ 伊香保湯「短歌」 瀬戸弘道
- 夕③ 田植え、霧「短歌」 松浪幸三郎
- 夕③ 折々の歌「短歌」 志みづこと子
- 夕③ 山岳専門雑誌 山と溪谷 川崎吉蔵
- 夕③ 艶書殺人「講談」(1) 湊邦三、高根秀治
- 〔画〕
- 7日(月)
- (9月5日(62))

- 朝②上越開通を俟つ奥利根の温泉郷 谷川岳  
を中心の利根連峰に誇る廣大絶佳な眺望
- 朝③シヤムの宮殿に王座を作り美術長政の名  
を得た前橋出身工芸家三木栄氏二十年  
振で期待さるゝ故郷の訪問
- 8日(火)  
朝③何とかせねばならぬ 極端な風紀紊乱  
夕③今後の社会は婦人の力を待望す 男女の  
相互扶助は人間生活の根本義 棚橋源太  
郎(談)
- 9日(水)  
夕②コナンドイル氏逝く  
夕③水曜講話 国産品愛用は先づ主婦から主  
婦の国産品消費は国産品の生産を盛にす  
土肥修策(談)
- 夕③「漫画」 新保菊次、難波盛夫、みつ、田  
村辰三、石川義夫 へ上毛漫画サロンへ
- 夕③私の麻雀 弊害を矯めつゝ愛育したい(1)  
日本麻雀聯盟前橋支部長 野村博士  
(談) (7月12日(2))
- 10日(木)  
夕③七月十一日こそ日章旗制定記念日 由緒  
あるその由来 島帝国の輝を見よ  
夕③お伽の国夢の国 歴史的エピソード 寺  
崎武夫(談)
- 11日(金)  
朝④失業の対策は果して無いものか  
夕③閑却されがちな虚弱児保護施設 学校診  
療・栄養・給食等の新施設を必要とする
- 12日(土)  
文部省学校衛生官 大西永次郎(談)  
朝①恋愛混線「小説」(1) 今野賢三、村瀬春  
映「画」 (9月12日(60))  
夕③食糧問題解決策に馬鈴薯食勧奨 国際食  
借改善は勿論自給自足には詭へ物 陸軍  
少将 石川潔太(談)
- 13日(日)  
夕③歌集「雲樹」短評 高桑菊子著 吉田緑  
泉  
夕③没落した花園「詩」 伊部龍作  
夕③歌集「雲樹」を紹介す 須藤泰一郎  
夕③技術の芸術 佐合守  
夕③み社「短歌」 伊部龍作  
夕③夏のスチママツチ「短歌」 西村篤郎
- 14日(月)  
朝②智識階級の失業者五千余名 東京市社会  
局の登録  
朝②北関東麻雀大会 異常の緊張裡にきのふ  
臨江閣の白熱戦 本社寄贈の優勝カップ  
は何人へ  
朝③納涼煙火の夕べ「漫画」 新保菊次、田  
村辰三、難波盛夫  
朝③現在の状態で続けば製糸業は労資共倒れ  
他の製糸工業地に倣つて本県でも積極  
的行動講究
- 15日(火)  
夕②文豪花袋を偲ぶ追憶談、遺墨展 愛弟子
- 16日(水)  
朝②製糸休業問題は非  
朝③尾瀬ヶ原を探る(1) 小林特派員  
夕②未曾有の大盛況裡に本社の麻雀大会終る  
白井屋チームの兼松国雄氏ついに栄冠  
を獲得す  
夕③夏の子供衛生 丈夫にするも弱くするも  
夏の鍛錬次第 東京市学校衛生技師 野  
村礼之(談)
- 17日(木)  
朝②製糸休業養蚕調節問題  
朝②暗々裡に物語る国立公園の有力候補地  
尾瀬日光地方を視察して赤木衛生局長が  
洩らした味ある一言 柳特派員  
夕③国産愛用運動に主婦の力を示せ 国民運  
動に参加して国家の重きに任せよ 日本  
女子大学教授 井上秀子(談)
- 18日(金)  
朝③製糸工場の休業で失業者七八千名 是等  
の職工を何うするか
- 19日(土)  
朝②白石氏をへいして 十七日前橋倶楽部  
で

- 朝③国立公園達成へまっ見る神秘境丸沼赤木衛生局長を中心にして 丸沼から日光へ(1) 柳特派員 (7月21日(4))
- 夕③人道上見逃せぬ放浪の天刑病者 その撲滅の為に国民の理解を望む
- 夕③スナツプシヨット 応接室の午後「漫画」(1) OSAMU
- 19日(土)
- 朝④割合に就職率の多い小学校卒業児童農林業に就く者も多い
- 朝④海豹鳥を視察して 清水留三郎
- 夕③簡便銷夏法としての裸体の生活様式 夏は自然的に裸体生活要望 高野六郎(談)
- 夕③虚弱児は高山に移す事 高山生活は発育を促す
- 夕③スナツプシヨット 或時或場所「漫画」(2) OSAMU
- 20日(日)
- 夕③スナツプシヨット デパートの売場「漫画」(3) OSAMU
- 夕③現今の経済的不安を救ふの途 国際産業会議を開き互に足らざるを補へ 海外協会中央会 依田理事(談)
- 夕③いなめのめ会(ホト、ギス社池内たけし氏を招じて)「俳句」 帆十、鳴月、仲春、雨亭、香山、歌男、茂樹、如友、吐秋、木人、杏人
- 21日(月)
- 朝②連取の老松(之れを勤王松と名づくるも亦可)(1) 江月会の一員(7月22日(2))
- 朝③花袋先生を語る(1) 白石美三(7月24日(4))
- 22日(火)
- 朝②鎌の刃先も物凄く神流河原の対陣 美九里村の応援も馳せ加はる 凄惨の気は刻々濃厚
- 夕③婦選獲得も近い 智と常識を磨け 先づ栄養は食物から書物は精神の糧です 吉岡弥生(談)
- 夕③水に因んだ民謡数種 先づ東京附近のものから
- 23日(水)
- 朝③善念寺境内で八木節の競演 夏の夜を野趣も豊かに 元紺屋、田町の催し
- 夕③「漫画」 新保菊次、難波盛夫、田村辰三、一二三、林、岡村へ上毛漫画サロン
- 夕③水曜講話 どんな人を変人と言ふのか 感情が極端に変化する特性を有つ人 淡路 円治郎(談)
- 24日(木)
- 朝④実話レビュー 松平文子「小説」(1) 泰賢助、鈴木三郎他「画」(7月26日(2))
- 夕②間接参詣時代 不況ナンセンス「漫画」 難波モリオ
- 夕③不景気を救ふは主婦の消費経済 今後は消費経済の研究と実行が必要 井上秀子(談)
- 夕③モダン行進時代になほ琴の生命 琴の良否と扱ひ方 増田曲進(談)
- 25日(金)
- 夕②仲よく七三に分けて水喧嘩円満解決
- 夕③学校給食は国民保健上の急務 学校給食を通じて家庭の主婦を教育
- 26日(土)
- 朝③清水越え(1) 柳特派員 (7月30日(5))
- 夕③統計に現はれた結核の高地療養の効果 独逸ザクセンに於ける調査
- 27日(日)
- 夕③念仏の二字は如来の本願 南無阿弥陀仏は正念と知るべし 富士川游(談)
- 夕③からす猫雑感 尾野世志呂
- 夕③松崎伸雄氏追弔会の準備
- 夕③字蘭盆句薙 十七日茂呂で「俳句」 尹洲、小葉、是無、白鳥、陶二、秋晃、明平、桃源、無事、秋色女、秀花、
- 夕③群馬童話帳 群馬童謡詩人会「童謡」(2) 百日紅 橋本暮村/青い稲田 青羽春夫/朝 小野吉郎/蛍 坂本八重/おてんとう様 大和嶺波/九つ子兎 青柳花明
- 29日(火)
- 夕①経済国難打開策(1) 下村紅雲(談) (7月1日(4))
- 夕③時流に順応した女性の成人教育 政治的にも社会的にも女性の教養が急務です 三輪田繁子(談)

- 30日(水)  
朝④樺太視察記(1) 高橋吉之助、清水儀平  
(8月3日(5))
- 夕③「漫画」 一二三、新保菊治、田村辰三、  
難波盛夫  
〈上毛漫画サロン〉
- 夕③水曜講話 純真に印象する種々相と模倣  
性人間の性格の出来上るには周囲の環  
境から 東京帝大助教 青木誠四郎  
(談)
- 夕③民謡の景勝諸国めぐり 信州と秩父の巻  
31日(木)  
朝③千八百名に上る県下の失業者 前月より  
はそれでも減少 県社会課の七月一日現  
在調査
- 夕③奇抜な栄養法に迷はされるな 刺身には  
ツマ、煮豆にゴマメ 栄養研究所長 佐伯  
矩(談)
- 夕③水に親しみ海に遊べ 千葉真一(談)
- 昭和5年(1930) 8月  
1日(金)  
朝④樺太開拓による植民産業開発策 将来の  
大計画を樹立すべく松田拓相視察
- 夕③婦人の向上と家庭生活の能率化 岡村慶  
子(談)
- 夕③諸国めぐり 民謡と景勝 異国情緒の町、  
エロの町
- 夕③産業合理化か淘汰促進策か 独立プロの  
影薄く映画製作漸く単純化
- 2日(土)
- 朝④各地の小作争議益々悪化する  
夕③節句と混合される七夕祭の由来 牽牛と  
織女のロマンス 関根正直(談)
- 3日(日)  
朝④深刻を極むる農村の窮乏
- 朝④国際聯盟で婦女兒売買調査 極東方面に  
まで延長すべく出張委員を任命す
- 夕③静寂そのもの、月の世界 月を見て悲哀  
を感ずのが不可解 早乙女清房(談)
- 夕③ひとりの心 山崎政章
- 夕③合歡の花「詩」 栗原道子
- 夕③松崎君追慕の会 一般の来会を待つて十  
日源英寺で開く
- 夕③逝きし伯母「短歌」 清水琴子
- 5日(火)  
朝③郷土の怪異(1) 腐爛した片足が巡査の眼  
前へ 剣で斬ると出た出た灰色の蛆 粕川  
村龍源寺狐の怪
- 夕③智育教育と共に衛生教育の普及 団体教  
育より個人教育 特に農村の徹底を図れ  
宮島幹之助(談)
- 夕③工場労働者の栄養改善を要す 健康に現  
れた実績 仙台に於ける実例
- 6日(水)  
朝③赤城裏山地方 二千五六百町歩開墾 実現  
可能性を認めたので 堀田知事一行がき  
のふ実地視察
- 朝③郷土の怪異(2) 薄気味の悪い深夜に怪物  
の誘惑 世良田村に今も伝へられる六左
- 朝④高山彦九郎先師 或る社会運動家の所感  
玉松操
- 夕③「漫画」 一二三、新保菊次、難波盛夫、  
田村辰三、原治夫  
〈上毛漫画サロン〉
- 夕③水曜講話 家庭の経済は主婦の心掛け一  
つ 物価指数に注意し物の買ひ方選び方  
前田繁一(談)
- 7日(木)  
朝③赤城裏山開墾地に模範農村の建設 経費  
約二十万円簡易水道も敷設 七百戸位は  
移住の計画
- 朝③郷土の怪異(3) 茶目気分の若衆が幽霊に  
似せた熊野神社の暗闇に白衣の姿 敷島  
座の大火異聞
- 夕②赤城原の大開墾地を知事一行の踏査 水  
には恵まれぬが土質は好適 開墾実現は  
可能か否か
- 夕③登山の服装は実用的なこと 登山姿流行  
の形 服装に就て注意
- 夕③ナンセンス 禁煙
- 8日(金)  
朝③農業経営の研究者が農村不況打開策 指  
導機関と別の立場から 懇談会を開いて  
大体の方針を決定
- 朝③群馬会館の落成記念に郷土文化の大展覽  
会 学務部総動員で準備着手
- 朝③宝塚より 島岡利二
- 朝③郷土の怪異(4) 執念の蛇に狙はれたお染

さん 日除けにかぶつてみた菅笠で生命  
拾ひをした話

夕①くげ沼だより(1) 坂内璋三

(〜8月19日(4))

夕③諸病に対するラヂウムの偉力 地球が持

つ唯一の宝物 全世界で僅に四十匁

夕③民謡と景勝 アンコは唄ふ 伊豆の大島、

椿に御神火

夕③南島観察随行画信(1) 塚本茂

(〜8月22日(8))

9日(土)

朝③郷土の怪異(5) 風の如く消えた雨宿りの

美女 弁天様の化身だと尊崇する 蛇に救

はれた火災

夕①くげ沼だより 日赤海浜学校(2) 海水浴

第五学年 小柏博

夕①阿字ヶ浦便り 桐生臨海学園(1)

(〜8月14日(5))

夕③産業合理化の事業界 其の一 暗夜行路の

製糸界に断然光る群馬社の躍進振り合

理化された其の経営方法

10日(日)

朝③郷土の怪異(6) 返してやった河童の片腕

お札に持参した霊薬の秘伝 貴重な家伝

薬の由来

朝③東上州の名物 八木節名手選抜会 一月を

くれの盆を利用 桐生組合の取引敷地で

催す

夕①くげ沼だより 日赤海浜学校(3) 海水浴

尋六 大林善郎

夕②昨夜十時過ぎ、二回に浅間山またく

爆発

夕②いよゝゝ実施される新しい学校給食制度

先づ試験的に一部分へ

夕③竹林七猫「画」 近藤正一郎

夕③新浮世風呂 須藤泰一郎

夕③花火「短歌」 松浪幸三郎

夕③友に贈る「詩」 谷樹

夕③尾瀬沼まで(1) 杉田謙作(〜8月17日(2))

夕③松崎氏を憶ふ 横地正次郎

夕③奈良今昔、宝塚見聞 島岡利二

夕③奈良にて、道頓堀にて、泉州堺にて「短

歌」 島岡利二

11日(月)

朝③業病と闘ひつゝ尚ほ生にあえぐ人々 癩

患者の療養状況を視察 安達内相一行の

草津入り

12日(火)

朝③郷土の怪異(7) 栗屋裏の怪 お定まりの丑

満頃 田舎廻りの壮士芝居で 橘屋鍋藏ク

ン実見の怪談一席

朝③桐生の輸出織物は全国で第三位

夕②けふ、関屋宮内次官が草津部落を視察

夕②尾瀬沼中心の一带を近く記念物に指定か

夕②松崎氏追弔会

13日(水)

朝③郷土の怪異(8) 此世を諦らめかねた景時

の幽霊を正文禪師の教化 石井の尼僧庵

に伝はる怪異

朝③仏像国宝指定 岩野谷村念称寺の本尊

朝④深刻さを加へ来たった農村民の生活苦

夕③「漫画」 一三三、石川義夫、南波盛夫、

田村辰三、須田 へ上毛漫画サロンへ

夕③簡単服の醜体と浴衣の美的価値 特に簡

単服の醜体を街頭に見るの不快さ 鈴木

綾子(談)

夕③厩舎秘譚 関口高二郎

14日(木)

朝③郷土の怪異(9) 勇者を救つた七本の卒塔

婆 七人の僧侶の奇蹟 碓氷合戦からむ

怪異

朝④厄介極まる華嚴の瀧自殺者 鈴木日光署

長語る

夕③暑中休暇中に親の持つべき觀念 自由で

而かも放漫に流れさせない良友になれ

棚橋源太郎(談)

15日(金)

朝③失業救済と婦人方面員制に就て方面員常

務会開く

朝③郷土の怪異(10) 仏果を得て年古る貉の飲

喜覚阿上人十夜念仏の教化 応声寺に伝

はる貉書の名号

夕③婦人を悩ます職業と結婚問題 果して婦

人の能率は男子より低いでせうか 竹中

繁子(談)

夕③生動する近代女性美 表情美と笑ひ 笑ひ

は人格を現す

夕③青鼻垂れの子は鼻が上向きになる 先天  
的と後天的 脳や発音訛悪い

16日(土)

朝③社会課で調査した県下の失業者 男女合  
せて八百二十一名

朝③郷土の怪異(11) 雨の夜、闇の宵燃ゆる鬼  
火 淫奔故に斬られた女 残る恨みを伝へ  
たおそよ橋

夕③現世の人間は道德的に鈍感 愚痴、名利、  
愛欲は罪悪でないか？ 富士川游(談)

17日(日)

朝③郷土の怪異(12) 岩神の岩からさつと迸し  
る鮮血 忽ちにして血河をなす凄惨 穴守  
稲荷縁起ばなし

夕②海浜学校だより 日赤群馬支部

夕③大阪夜景 島岡利二

夕③尾瀬沼行「短歌」岸とらを

夕③吹割瀧に遊ぶ 河井醉茗

夕③詩集「黄蜂」出版記念会

夕③断想二章 藤島鶴三郎

夕③訪山夫君「短歌」永井すみ夫

18日(月)

朝③尊き研究の結果を故郷への土産 高岡日  
大教授が松井田で開設した林間学校

朝③郷土の怪異(13) 父親の貪欲から蛇体に化  
して狂死した庄屋の愛娘 池田村白蛇塚  
にまつはる怪異

朝③巷に輩出する机籠之助 西瓜の洪水が生  
んだ夏の夜、街頭のナンセンス

19日(火)

朝③郷土の怪異(14) 赤城の沼に沈みゆく船と  
人伝へられる御神木の祟り 千九百三十  
年の怪異

夕①くげ沼だより 日赤海浜学校(4) 真下千

代/海水浴 小林久子

夕②モデル問題から菊池氏が乱暴 婦人公論  
主任を殴打して 或ひは告訴沙汰か

夕③児を生める女性に真の美しさを観る 性  
生活による変体から先づ栄養を充分にせ  
よ 医学博士 福井正憑(談)

夕③民謡と景勝 懐かしの越路 荒海、吹雪、  
佐渡などの淳朴洒脱な唄を聞け

夕③教化団体代表町村長小学校長を集めて教  
化問題懇談会

夕③郷土の怪異(15) 城主の娘の寝所を襲ふ妖  
魔名香の薫り、なぞめく男女の私語 沼田  
城に伝はる怪異

20日(水)

夕②問題の谷崎夫人正式に佐藤氏と結婚す  
然も三人連名で堂々と通知状 潤一郎春

夕③夫恋の大団円 未練も少しはあるがみな  
諒解の上やった問題の女は元前橋花柳  
の芸妓 平気で事情を語る谷崎氏 二人は  
一度は同棲した事もある 萩原朔太郎氏  
語る

夕③「漫画」新保菊夫、田村辰三、難波盛  
夫

夕③「漫画」新保菊夫、田村辰三、難波盛  
夫

夕③よく努める者はよく休養せよ 幸福は健  
康より努力は休養より 正木不如丘  
(談)

21日(木)

朝③群馬会館の落成記念に郷土資料展覧会  
十一月中旬一週間に亘つてきのふ天然  
記念物調査会で協議

朝③郷土の怪異(16) 仏徳を物語る鰻橋と弘法  
の井戸 碓氷郡東横野に残る増水が生ん  
だ伝説

朝④農村の窮乏は遂に其の極に達す 憂ふべ  
き小作料昂騰と農産物激落 今後の農村  
問題に暗影

夕①百姓はどうなる 窮乏せる農村を救へ(1)  
(8月24日(4))

夕③婦人美増進に整容体操を懲憑 体操に属  
す運動は身体美を増す 文部省衛生官  
岩原拓(談)

22日(金)

朝③郷土の怪異(17) 武州で捨てられた夜泣地  
蔵の首 茶釜石の妙音忘れ難く五料恋し  
と音に出して泣く

夕②春夫、潤一郎両氏の恋愛混線劇裏の真相  
夫人の実兄は語る(1) (8月27日(6))

夕③生命短縮にもスピード時代 自動車の瓦  
斬が及ぼす被害 東京衛生試験場調査

夕③エロとグロ 迷信とナンセンス 性に関す  
る土俗人形

23日(土)

朝③郷土の怪異(18) 仏化を求めた双林寺の猫



涅槃像を描く絵師に許されて嬉しげに尾を振る

夕③幸福を欲せば境遇に順応せよ 水の器に  
応ずる如くあれば何等障害なし 多摩少年  
院長 太田秀穂(談)

24日(日)

朝③郷土の怪異(19) 斬られた首が空を飛んで  
向ふ河岸の杉の木に噛み付 吾妻太郎最  
後の怪異

夕③漢族の特異性 川口準太郎

夕③万葉集伊香保の歌研究余録 田山花袋先  
生の誤謬(1) 大沢雅休

夕③釣魚風景(1) 新井哲夫(〜9月28日(4))

夕③いなめのめ会「俳句」吐秋、香山、雨亭、  
桜舟、路石、仲春、止風、赤陽子、鶏助、  
帆十、木仏、歌男、一枝、雨村楼

夕③群馬童話帖 群馬童謡詩人会「童謡」(3)  
日向葵さん、百日紅の咲くお寺、松葉牡  
丹 青柳花明

夕③夏日吟雑抄「短歌」もとよし

25日(月)

朝③郷土の怪異(20) 天狗の棲む九十九谷の霊  
境 稚児を弄ぶ和尚の乱行が天狗に祟ら  
れた柳沢寺の怪火

26日(火)

朝③郷土の怪異(21) 悪夢に襲はれ奥女中を斬  
る城主 餓死した名主八名の恨みか 小幡  
城に伝はる怪異

夕③社会相の変化と家庭生活の崩壊 外が明

るくなれば家は暗影をさす 加藤咄堂

(談)

27日(水)

朝③尾瀬のぬし平野長藏翁逝く 奥利根の大  
自然美を守つて全生涯を捧げた功績

朝③郷土の怪異(22) 夫婦愛を語る 鳴かずの池  
呑龍上人の高徳をも伝へて今に残る大  
光院の名物

朝④探偵読本(1) 都会の毒蛇「小説」(1) 丘  
晃一郎、住谷警根、中西洋々、井上尚陸、  
橋場鮎刺(〜9月26日(25))

朝④問題となつた公務吏員の優遇 行政官の  
身分保証に關連問題再燃 近き将来には  
実現される

朝④修身倫理教授を効果的に改善 中小學生  
の思想善導方策

夕③「漫画」 石川義夫、新保菊次、一二三、  
田村辰三、難波盛夫、益子尻出王

夕③「漫画」 石川義夫、新保菊次、一二三、  
田村辰三、難波盛夫、益子尻出王

夕③先づ食事衣服から生活様式立直し 一九  
三〇年の婦人は須く因襲打破に勇敢なれ

夕③先づ食事衣服から生活様式立直し 一九  
三〇年の婦人は須く因襲打破に勇敢なれ

28日(木)

朝③郷土資料展覧会 三十日準備委員協議

朝③郷土の怪異(23) 恋を知らぬ長者の娘の最  
期 消えた姿のあとに残つたは 千手千眼  
の観音尊体

夕②ロンチャニーの死 グロの名優つひに逝  
く

夕②北海出漁の蟹工船に奇怪な虐殺説伝はる  
待遇改善を要求した漁夫十六名を襲ひ

夕②都人に知られたわれらの赤城 連絡切符  
の効能も手伝ひ例年にない登山者

夕③現象を見透かす観察眼の養成 漠然と物  
を見る人と探究的に物を見る人 東京市  
社会局囑託 浜中浜太郎(談)

夕③旅行とカメラ 自然と人生

29日(金)

朝②展覧会開催を機会に郷土資料調査 系統  
的記録を作る計画

朝③郷土の怪異(24) 人語を発して敵討の手引  
をした吾妻郡伊参村の囀り石 里人も誇  
る吾妻七つ石の一つ

朝③農村不況救済の具体策に向つて邁進 全  
国町村長会の決議に基き来月八日に県町  
村長会総会を開く

朝③失業地獄 敷島河原で石の竈を築いてう  
どんを煮て喰つた一大家族 木賃宿さへ追  
はれて

朝③失業防止救済

朝③赤城裏開墾 地元村民の陳情きのふは堀  
田知事へけふは上京して農林省へ

朝④国際聯盟の婦女兒売買調査 極東へ三名  
の委員派遣

夕①県下の精神病者 一千人を突破

夕②賀川豊彦氏が在原町長に当選す

夕③永遠の道と宗教を求むる心 科学文明に

- 飽き足らぬ者の進む道 立教大学学長  
杉浦貞二郎（談）
- 夕③主婦の努むべき夫婦愛の秘訣 夫の気質  
を理解し決して操縦するな
- 夕③美の輝き 精神の朗かさ 紅白粉より健康  
第一
- 30日（土）
- 朝③美術の秋(1) 浴槽「画」 横井礼一
- 朝③郷土の怪異(5) 桔梗の花咲かぬ城峯の怪  
異 俵藤太に亡された将門の恨み 髪流れ  
の名に負ふ神流川
- 夕②農村不況打開具体的方策を研究
- 夕②水平社青年聯盟を中心に日本統一党組織  
呑龍上人霊前で宣誓式挙行 十一月中旬  
結党式
- 夕③余り知られてない幼児の血液吐瀉症 血  
を吐いて死ぬ病気で血が止まれば治るも  
の 竹内薫兵（談）
- 夕③病床に臥すことは一種の休養と考へる事  
に依て病は逃げる 正木不如丘（談）
- 31日（日）
- 朝③郷土の怪異(6) 大蛇、美女と化して城主と  
通ず 出来た子供に鱗のあと 乗り棄てた  
輿は石と化す
- 昭和5年（1930）9月  
1日（月）
- 朝③けふ、県下一斉に「酒無しデー」 禁酒  
の講演やら宣伝隊
- 朝③一九三一年式と銘打った群馬会館の尖端
- の大建築美を語る(1) （9月3日(3)）
- 朝③加茂の河原で「織物音頭」 十日京都で  
桐生織物宣伝 一行十三名九日出発
- 朝③兵隊さんの高崎に唄が無い 花柳界で寂  
しがつて「高崎音頭」を物する計画
- 朝③高崎音頭「民謡」 市丸武二  
2日（火）
- 夕②美術の秋(2) 唐人お吉「画」 津田青楓
- 夕②前橋新風景(1) 恋を追ふ影二つ此所に一  
組、彼所に二組もつれ、もつる、秋宵  
の敷島公園(1) K・M
- 夕③学期制度の合理的改善 春夏秋冬の適季  
的教育提唱 下谷小学校長 下川兵次郎  
（談）
- 夕③秋の句会で石田氏を送別「俳句」 長谷  
川止風、石田紫草、高橋路石、柳鶏助
- 3日（水）
- 夕①大前橋の上水道と伝染病の撲滅策(1) 吉  
井錦陵（談） （9月5日(3)）
- 夕②群馬会館の落成記念に郷土資料の網羅計  
画 寺院、旧家、名家、中小学校、図書館  
等あらゆる方面に就て調査を開始
- 夕②前橋新風景(2) 機械の日、暮れて性欲の  
夜、よみがへる 北部工場街の彼の女たち  
K・T
- 夕③家計簿から生れる楽しい家庭生活 子供  
の為め家の為め予算生活を断行せよ 棚  
橋源太郎（談）
- 夕③二学期からの児童の指導方針 特に個性  
を見定め六年から職業指導 性能研究所  
長 高峰博（談）
- 夕③美術の秋(3) 仰臥「画」 児島善三郎
- 4日（木）
- 夕①二十五歳以上の女子に公民権 市町村制  
其他関係法の改正案を得て次の選挙から  
実施決定
- 夕③世界文化開発と国際心の重要性 国際的  
諒解と好感が世界に益す根本精神 新渡  
戸稲造（談）
- 夕③ストローハット「漫画」 石川義夫
- 5日（金）
- 朝③上毛人を語る(1) 至誠、至孝の人 荒木寅三  
郎博士 上毛が生んだ現代世界的人物  
桑原政栄（談）
- 朝③映画教育に特別委員の協議
- 夕②前橋新風景(4) 町の名は美しくし 銭湯、測  
候所の物見台 萩町を点綴するエログロ  
雑景 Y・Y
- 夕③生活環境と学校との調和 武田一郎  
（談）
- 夕③七十歳まで人間は生き得ると思へ 人生  
僅か五十年と考へて早老するな
- 6日（土）
- 朝③上毛人を語る(2) 世界の野間氏をはぐく  
んだ武道精神 今日の大成を見た学生時  
代の修養 本県社会教育主事 吉永貫一  
（談）
- 朝③都々逸、草津ぶして 国勢調査の宣伝

朝④学校と社会から政治教育 具体策を調査  
考究して明年度から実現する

夕②児童と映画は不可分 積極的に映画教育  
を実施 竹内市長の諮問に対して審議前  
橋教育会で大体の方針決定

夕②実際の取扱は教育映画協会設置 是れに  
一切委託の計画

夕②前橋新風景(5) バラック式建築 丁髷時代  
其儘の建築 滅茶苦茶に交錯する大前橋  
の横顔 K・K

夕③生産同様に重大な食糧消費問題 僅少の  
費用で最大の栄養を發揮 陸軍省衣糧課  
長 丸本彰造(談)

夕③都下の教育者に学術的映画を紹介す  
へキネマのページ

夕③享保捕物綺談 処女傀儡師「講談」(1)  
菊池暁汀、布施長春「画」  
(〜翌年5月29日(5))

7日(日)

朝②全鮮的に学生騒擾 民衆的運動を策謀し  
た朝鮮共産青年会、学生前衛同盟檢拳  
きのふ記事掲載解説

朝③上毛人を語る(3) 俳壇唯一の誇り 日本の  
詩人村上鬼城翁 芭蕉の幽寂と一茶の酒

脱を兼る人 高橋香山(談)  
夕①上毛一夕話 お虎ヶ淵の伝説 美女を蛇責  
めにした乱行は松平侯の時代に非ずと

旧藩主の為に弁ずる好漢岡山氏  
夕②前橋新風景(6) 不規則に息づく裏長屋の

灯ともし頃 大前橋を一足裏通りへ入つ  
て Y・S

夕③奥上州室川温泉に遊ぶ「短歌」 植村祐  
三  
夕③ナンセンス 杉田謙作

夕③相生町だより 須藤泰一郎  
夕③婉外句集「ゆけむり」を読む 真庭歌庭

夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」 白  
百合 小野吉郎／河原の月見草 古谷野  
茂登子／仔雀、黄いろい蝶々 深津美歌

雄／お祭り獅子 青柳花明  
8日(月)

朝③上毛人を語る(4) 喧嘩の仲直りに八人の  
車夫に大盤振舞 帝劇専務山本久三郎氏  
の一断面 岡崎長平(談)

朝③竜宮のお椀 此方への標札に誘惑されて  
珍什拝見の巻 吹割、亀の子岩に絡はる伝  
説

9日(火)

朝③上毛人を語る(5) 製糸界の先覚者 各種の  
新施設に手を染めた大久保佐一氏の頭の  
よさ 交水社理事長 杉山寅雄(談)

朝③公園の改造 児童遊園地建設 前橋市当局  
の計画進行 本年度内に実現を見やう

夕②前橋新風景(7) 東京の新開地街日暮里界  
隈を思はせる イタにつかぬ新芳町の町  
なみ G・A

夕③仏の備へる救世の三徳とは 複雑な現代  
社会に益々必要な信仰心 渡辺海旭師

(談)  
10日(水)

朝③上毛人を語る(6) 公正会時代から其片鱗  
を見せてゐた無産党首となつた桑島氏の  
性格 県会議長 都木重五郎(談)

夕②前橋新風景(8) 生に執着する恐怖、不安、  
苦の世界 前橋市立病院に見る別天地  
H・T

夕③「漫画」 益子しでを、難波盛夫、鈴木  
平丹、田村辰三 へ上毛漫画サロン

夕③新学期と子供姿勢に注意 悪姿勢から起  
り易い肺結核の症状 先づ胸廓を大なら  
しめよ 内務省衛生局

夕③美術の秋(4) 裸女習作「彫刻」 太田嘉女  
野

夕③麻雀を語る 一九三〇年の常識としても  
知つておいてよい競技(1) 中原達也  
(〜9月24日(3))

11日(木)

朝③上毛人を語る(7) 往昔の腕白少年今は謹  
厳な静岡市長 初代旅順民政署長小島源  
三郎氏 木瀬村長 清水忠次郎(談)

夕②前橋新風景(9) 眠れる街路に地を踏みし  
めて立つ 労働者の誇り、才川町工場街  
の朝 M・N

夕②不景気から郡町村農会廃止  
夕②宮口二郎氏逝く

夕③美術の秋(5) ポーズせる女「彫刻」 太田  
三郎

12日(金)

- 朝③赤城裏山の開墾はまづ簡易水道から起工  
朝③三木氏の美術講演  
朝③上毛人を語る(8) 郷土を愛する高等師範の勅任教授 然も磊落書生の如き中島信虎氏 豊国覚堂(談)  
朝③加茂河原の桐織宣伝八木節  
夕①政治結社に加入 婦人にも許可 治安警察法改正提案か  
夕②前橋新風景(10) 日本でも指折り素晴らし  
い前橋の水 水を中心に变化する四季の風物 S・K  
夕③日本人の食物摂取法を改良 糠、青葉、果実は我國民の保護食 篠田義市(談)  
夕③美術の秋(6) 女のまはり「画」 古賀春江  
夕③亡びゆく歌舞伎劇 水田静児(談)  
13日(土)  
朝①黄金の枷「小説」(1) 吉川延、小寺耕嶺「画」(一) (翌年4月2日(日))  
朝③愛国婦人会の托児所成績 収容児童百名を突破  
朝③上毛人を語る(9) 此意気其抱負 西にベルリン大学あり東に巢鴨中学の遠藤隆吉博士 桃井小学校校長 秋山金次郎(談)  
朝③生活戦線にあえぐ殺人不況の反映か 次から次へと持ちあがるごたごた 桐生街頭の一世相  
夕②前橋新風景(11) 構成化された久留万橋附近の情景 停車場前からの新しい感覚

C・M

- 夕③十三段制記念大懸賞広告  
夕④近代児童の体格は著しく向上 過去二十年の統計と近年に於ける向上率  
夕④画の観方 平田香堂(談)  
14日(日)  
朝③上毛人を語る(10) 趣味は味覚道楽 社交上手の翠雲画伯 東洋文化普及日支親善にも努力 伊勢崎織物会社社長 下城好雄(談)  
夕②前橋新風景(12) 旧厩橋城附近 竣工する群馬会館を中心に構成されるわれらの前橋 S・O  
夕③温泉雜記(1) 田島武夫 (9月21日(2))  
夕③秋の花、葉鶏頭、溝秋草「詩」 栗原道子  
夕③蚕飼ひ「短歌」 橋本達郎  
夕③謡曲幻想「画」 山村耕花  
夕③萩と母「詩」 夕波千鳥  
夕③歌集「若楓集」 女流概評 竹内もと子、高井つる、鈴木嘉納女、林その子、市村すゑの、野村菊枝、深町いそ子、白土君代、浜田多懸子、小川千代、関口美子、吉田多美子、新井ふじの、勅使川原のり子、羽尾島子、青木不二子、北川八重子、井田安子、鈴木不二子、清沢照子、野上京子、神沢なか、紫垣捨子、大沢千夜子、野口静枝 高桑菊子  
15日(月)  
朝③純潔会を組織してエロ征伐の烽火を揚ぐ

先づ青年団、処女会に呼びかけて近く創立発会式を挙行

- 朝③上毛人を語る(11) 後進育英に努め学生同様の簡易生活 行政裁判所評定官関口健一郎氏 本県学校医会長 津久井省己(談)  
朝③婦人方面委員権限を拡張  
16日(火)  
朝③上毛人を語る(12) 中学校時代から実業界に志を立てた人 マーチヤントで通つた 平田篤次郎氏 前橋商業学校長 中西秀雄(談)  
夕②前橋新風景(13) 会議所を中心に描かる、想像の世界 G・O  
夕③深刻なる現今の不景気を語る 今日の不景気は将来の景気を培養する 東京市社会局長 安井誠一郎(談)  
夕③宣伝の大衆化が足らぬと内外各社が宣伝の合理化 当てたのは小唄レコード <キネマのページ>  
夕③夏畑「画」 中島清  
17日(水)  
朝③郷土資料展 旧藩の出品勧誘  
朝③上毛人を語る(13) 武家に生れて仏門に入った変り種 浄土宗内の徳望家松濤賢定 師 浄土宗本県教務所長 蓮池弁師(談)  
夕②前橋新風景(14) 近代的大前橋に取残された場末の町 昔の宿場を思はせる利根橋通り T・M

- 夕② 廃娼運動の転化「漫画」 モリヲ
- 夕③ 「漫画」 石川義夫、一三三、田村辰三、難波盛夫、益子してを、久保大三郎／笑ひの殿堂 西瓜ぬすと、遠慮  
 夕③ 政治浄化のため婦選を要求 先づ与へよ 然る後に評せよ 全国婦選獲得同盟 布施委員長（談）
- 夕③ おどり「彫刻」 藤井浩祐  
 18日（木）
- 朝② 耕地整理の施行 赤城裏山の開墾地を併せ明年度は約四千町歩の予定
- 朝③ 上毛人を語る(14) 月給取は嫌だと少年時代の意気と豪語 米界の大立者、有松尚龍氏 木村二郎（談）
- 夕③ 結核患者は小児に最も多い 大人の肺病の八〇％は児童期の感染から 佐藤正（談）
- 夕③ 児童施設 田中克子（談）
- 夕③ 花と裸婦「画」 林武
- 19日（金）
- 朝③ 上毛人を語る(15) 古武士の典型 後進の面倒をよく見た上毛育英会の創設者亀岡少将 騎兵大尉 野村敬徳（談）
- 夕① 上毛一夕話 古人の尊い遺業 上毛人の著書の解題 研究中に意外の蔵書家発見 前橋図書館長 佐藤錠太郎（談）
- 夕② 秋の前橋を飾る上毛美術展覧会 愈々来月三日から五日間に亘つて第四回の蓋を開ける
- 夕② 敬神思想普及に映画会を開く
- 夕③ どうして物価は下落するか 既に国際的水準に達し景気回復の傾向にある 太田正孝（談）
- 夕③ 田園の秋「画」 高橋万年  
 20日（土）
- 朝③ 勅語発布記念に前橋市民読本 前橋市教育会編纂計画
- 朝③ 上毛人を語る(16) 政治家肌の学者 青年時代の勉学経路も人と変つた所のある中島徳蔵氏 伊勢崎町長 石川泰三（談）
- 夕② 裸体「画」 清水刀根
- 夕② 高崎の郷土資料を蒐集 群馬会館へ出品
- 夕③ 理想の政治は男女協力に依る 消費経済の実行者たる婦人の力を尊重せよ 鈴木文史朗（談）
- 21日（日）
- 朝③ 上毛人を語る(17) 歴史を生命としその研究に没頭する高等師範の教授 峯岸米造氏 前橋市視学 中島盛一（談）
- 夕③ 秋空に涙ぼろぼろ「詩」 清水房之丞
- 夕③ 九月詩抄「詩」 発見、深山、音、おなじく、こほろぎ、美 小野忠孝
- 夕③ 秋の公園「詩」 岡部宇一郎
- 夕③ 二つの錯謬 吉井忠男
- 夕③ 婦人像「画」 安井曾太郎
- 夕③ 世良田即事 神沢金夫
- 夕③ 群馬童謡帳 群馬童謡詩人会「童謡」 蜻蛉と子供 青柳花明／お月見よ 牧丘草之介／兔の餅つき 狩野モリオ／鳴子坂本八重／秋の風景 大和嶺波／童心一章 小野吉郎
- 22日（月）
- 朝③ 上毛人を語る(18) 渡辺昇子爵が見出した剣道の達人 御前試合、名誉の優勝者持田盛二氏 大日本武徳会範士 奥平鉄吉（談）
- 23日（火）
- 朝③ 上毛人を語る(19) 刀水書屋に隠棲 名聞を避けて静かに古文書を読む陸軍中将渡辺金造氏 前橋市主事 竹内龜松（談）
- 夕② 街頭のエロ、グロ 漫書巡礼(1)（～10月1日(6)）
- 夕③ 女性の心理を釣る不正求人横行 内容と性質を吟味 貞操まで弄ばれる恐ろしい世の中の展開
- 24日（水）
- 夕③ 軍鶏「画」 奥村土牛
- 朝③ 上毛人を語る(20) 第二の樗牛に非ず第一の中村孝也 かくあれと希望した中村博士 群馬県知事 堀田鼎（談）
- 夕① 上毛一夕話 前橋のやうに開けゆく近代都市は郷土読本が特に必要だと幼稚園長 春山福之助氏語る
- 夕① 前橋大胡二ヶ所で成人講座開設さる 恵まれぬ地方の青年に学究の機会を与へる 有意義の催し

- 夕③「漫画」 難波盛夫、一三三、岡田まさ路  
 へ上毛漫画サロンへ
- 夕③近代婦人とエロと性的犯罪 色彩のエロ、  
 姿態のエロ 不良男女は何故出来る 警  
 視庁警察部警務係長 前田善教(談)
- 26日(金)
- 朝③思想善導強調期間の事業 各地に講演会  
 や小冊子配布 勅語記念に県で準備
- 朝③興味が深くて然も学術的にも貴重な旧藩  
 主の厚意ある出品 群馬会館落成記念郷  
 土資料展覧会を飾る
- 朝③上毛人を語る(2) 教員から官吏に 人も驚  
 く 勉強と努力 沖縄県知事 井野次郎氏の  
 学生時代 前橋図書館長 佐藤錠太郎  
 (談)
- 夕①高崎青年主催八木節競演会 十月三日開  
 く
- 夕③真の道を歩むには全我の相を見よ 自力  
 我慢の心では安心立命は不可能 富士川  
 游(談)
- 夕③風神「彫刻」 武井直也
- 27日(土)
- 朝③愛国婦人会の委託産婆出産取扱ひが増加  
 茲にも亦不景気の余波 経費が足らず一  
 件三円以内と改正す
- 朝④探偵読本(26) 黒猫団「小説」(1) 丘晃一  
 郎、住谷磐根、中西洋々、井上尚陸、橋  
 場耐刺 (11月9日(36))
- 夕②シカゴチームを観る人の為に(1) 鈴木惣  
 明
- 夕③近代女性の悩み 生活問題・性問題 美人  
 で健康でなければ職業婦人たり得ない
- 夕③秋の花の伝説 侍女の姿はいつの間にか  
 可憐なコスモスになりました 上和田英  
 樹(談)
- 28日(日)
- 朝②宮郷村で郷土資料を調査 展覧会へ出品  
 の予定
- 朝③上毛人を語る(2) 文字通り優等生 全学  
 生々活を通じて首席の椅子を保持した綿  
 貫哲雄氏 女子師範学校長 藤見睦治  
 (談)
- 夕③村田嘉久子の像「画」 中川紀元
- 夕③明治文学雑考(1) 村山十九
- 夕③沼の夕べ「短歌」 大原弦月
- 夕③断章「詩」 藤原祐之輔
- 夕③いなめのめ会「俳句」 香山、桜舟、楚水、  
 仲春、赤陽子、歌男、如友
- 夕③燈下親しむの秋 演劇的雑感 藤島鶴三  
 郎
- 夕③歌集「明るい呼吸」と著者永瀬英一君  
 大槻三好
- 夕③秋の風「短歌」 藤居みはる
- 夕③群馬童謡帳 群馬童謡詩人会「童謡」ア  
 バヨ 小野吉郎／秋 深津美歌雄／お山  
 の小鳥 古谷野茂登子／いなご 青柳花  
 明
- 29日(月)
- 朝②独逸へ行く美術使節 小室翠雲画伯の為  
 に本社後援壮行画会開く
- 朝③上毛人を語る(2) 福岡地方裁判所の猪俣  
 検事正 前県議員 深町代五郎(談)
- 朝③上毛美術展審査委員会開く
- 30日(火)
- 朝③市早両大学チームいよく今三十日来県  
 今夜は伊香保温泉に連日の疲労を洗ひ  
 あす、敷島球場に相見ゆ
- 朝③前橋に於ける活躍を期待 シカゴ大学  
 チームに就いて 六大学リーグ専顧審  
 判、本社運動部顧問 池田豊(談)
- 朝③けふ来県する市早両選手 予想されるあ  
 すの壮観 シカゴチームのおも影
- 朝③上毛人を語る(2) 名人の域に入る細谷三  
 郎氏の仏像製作 奈良法隆寺の管長佐伯  
 師も激賞 前橋市長 竹内勝蔵(談)
- 朝④経済上から見た世界的恐怖時代
- 夕①上毛一夕話 山に住む青年と都会地の青  
 年の比較 講演行脚から得た実験を説く  
 弁護士会長 島岡利一
- 夕①幼児虐待の頻出に全国的監護会設置 被  
 虐児童の救済策の具体化 本県も保安課  
 で調査
- 夕①此不景気の恢復は国民の覚悟如何に在り  
 二十八日柳座で井上蔵相講演概要(1)  
 (10月1日(2))
- 夕③都を憧るゝ地方の男女へ 警察官憲の眠

に映つた地方青年男女の夢 日比谷署長  
石森勲夫(談)

昭和5年(1930)10月

1日(水)

朝②シカゴ、早稲田両大学選手来る 秋晴れの  
前橋駅頭に出迎への群集に輝やかしい  
印象

朝③早大対シカゴ大学戦の日は愈々来る

朝③教育映画の筋書に佳作で当選 伊勢崎上  
山先生

朝③裁判所とは恐しい所で無い 民衆は裁判  
に親しみを持って 島岡前橋弁護士会長  
(談)

夕③「漫画」 一三三、岡田まさ路、難波盛  
夫、益子しでを へ上毛漫画サロンへ

夕③婦人に政治教育を施す可き大切の秋と  
へられる権利の遂行力養成の方法 婦選  
獲得同盟 塩原静(談)

夕③一ヶ年間に七百件の少女犯罪 性的関係  
が原因で男の歎心を買ふ為

2日(木)

朝②シ早両大学招聘 大野球戦挙行

朝③上毛人を語る(2) 細谷三郎氏の仏像製作

奈良法隆寺の管長佐伯師も激賞 前橋市  
長 竹内勝蔵(談)

夕③子供に与へる母親の強い感化 善良な子  
供も不良も母親から 吉岡弥生(談)

夕③いよゝ明日から第四回上毛美術展

3日(金)

朝②婦人方面委員の権限を特に拡張 本県方  
面委員規程改正

朝③秋の前橋を彩る上毛美術展 いよゝ今  
三日から第四回目の蓋をあく

朝③上毛人を語る(7) 少年時代から学者とし  
ての芽生え 神戸商大の勅任教授田中金  
司氏 弁護士 池田義一(談)

夕②市早両大学選手選手の一行帰る

夕②市早両大学対抗野球戦を観る 鈴木惣太  
郎

夕③経済と保健から精白米主食に反対 食費  
は頗る低下しても栄養分は充分摂取可能  
佐伯矩(談)

夕③童話の中に階級意識表明 子供の読物は  
父兄で注意して選択すべし 少年審判所  
中條伊勢吉(談)

4日(土)

朝②翠雲画伯来県す「写真」

朝②秘密結社組織計画 事前に発覚して検挙  
か 内容は厳秘に附さる 伊勢崎署の無産  
党員検挙事件

朝②考古学界で問題の武人埴輪 鑑定してや  
ると称して和田氏が持つて行つた儘の品  
本県考古学界でも物議の種 廿年前前掘  
当時の実情

朝②高崎青年の八木節大会 優良旗授与

朝③上毛美術展「写真」

朝③上毛人を語る(8) 学生時代、既に生徒の衆  
望を集めた東洋レーヨン技師津田正吉氏

高崎市会議員 石橋栄太郎  
夕①上毛美術展覧会 けさ、午前十時から開  
く

夕③婦人の犯罪は残虐性が多い 最近に於い  
て新聞紙上に現れた種々の実例 警視庁  
刑事部保科庶務課長(談)

5日(日)

朝②婦人方面委員増設 取扱範囲の拡張に伴  
ひ 館林、富岡、藤岡、新町、沼田、境、  
渋川の各所へ県から設置方を勧奨

朝②上毛美術展入賞者 きのふ診査の結果決  
定 審査概評／書の部 松村琴荘、井上  
浦造／洋画所感 曾根末次郎、斉藤始雄  
／日本画の部 羽鳥升平、牧島菊園／美  
術工芸部 塚越万平／篆刻 林庸太郎、  
中沢広勝

朝③上毛美術展(第二日) 階上階下忽ち人  
に埋まつたきのふの盛況

夕③画室「画」 石井柏亭

夕③秋景断片 三谷川篤

夕③群馬童謡帳 群馬童謡詩人会「童謡」 葡  
萄園での唄 青羽春夫／秋の日 狩野モ  
リオ／夕方の遊び 高本光夫／夕暮 深  
津美歌雄／月夜の虫 青柳花明

夕③少年行(1) 早水城春 (10月12日(2))

夕③蝙蝠、瘦影を見る「詩」 秋岡遼

夕③丁氏にをくる、空間と風景「詩」 藤居  
みはる

夕③秋の花、秋風、梨の実、前橋の詩「詩」

藤原道子

夕③白樺哀唱「詩」夕波千鳥

6日(月)

朝③上毛美術展(第三日) 一万人を突破した

7日(火)

朝③快晴に恵まれた上毛美術展 連日、押すなぐの雑踏

朝③同郷の女流画家に岡部かめ子さんの同情 進んでモデルになった「クロスケッチ」

上毛美術展をかざるエピソード

夕②歌舞伎劇不振 江戸三座の名残を留めた

市村座も映画館か小屋賃にならう

夕③早婚の弊害 性生活の理解 精神上に悪い 刺激を与へることが多い 正木不如丘

(談)

夕③主婦と台所科学 燃料の衛生的観察 電気 以外の燃料には諸欠点を伴ふ故注意 東

京市衛生試験所 富永哲夫技師(談)

8日(水)

朝③郷土芸術の殿堂 上毛美術展 好評裡にきのふ閉会す

朝③上毛人を語る(2) 京都帝大の教授中島法

学士 弁護士 落合長吉(談)

夕③「漫画」 山口豊専/生仏の過去帳「漫 文」 やなぎ樽/秋のコント・頼まれた

男の話「漫文」 田村辰三

へ上毛漫画サロン

夕③近代女性は迷ふ 職業と結婚の衝突 一般

の結婚観念と婦人の経済観に矛盾

9日(木)

朝③赤城裏山開墾事業 経費分擔割合決定し て二ヶ年継続事業で明年度から着手か 各方面から注目さる

朝③思ひ余つて身の上相談しながら修養を したいといふ健気な女工さん 一ヶ月間 に三百人の余に上る相愛館を訪れる人々

夕③田舎出の娘を誘惑する魔の手 実に巧妙 な方法で其の弱点につけ込む 東京駅構

内婦人相談所 岡とくじ主任(談)

夕③夏期疲労回復の秋と児童の衛生 岡田道

一(談)

夕③不景気から奇妙なボイコットチエツコ の脱帽運動その対抗が亦面白い

10日(金)

夕①「利根小唄」 二十日ごろ沼田劇場で公 演

夕②頭痛の種の公私娼対策 世界の注目を受 けて内務当局頻に狼狽す

夕③先づ健康! 衛生思想の薄い国民 高野六

郎(談)

夕③「漫画」 一二三

11日(土)

朝③群馬会館落成式 十一月廿九日に決定 郷 土資料展を始めとして

夕③学校教育を重要視するの弊 高等遊民と 就職難の原因は何処にあるか 中央職業

紹介事務局長 遊佐敏彦(談)

夕③蘭の伝説 上和田英樹(談)

12日(日)

朝②二十年後には癩患者を全く根絶の方針で 和歌山、草津各療養所設立 潮次官赤木 局長等渡沢子爵を訪問協議

朝③短期教化強調週間

夕③新しき明日への展開 上毛詩壇に於ける 人々へ 秋岡遼

夕③露細亜風景「詩」(1) 柳居青児

へ(1)のみ確認

夕③映画のリズムと明日の映画への思慕(1) 吉井忠男 (10月19日(2))

夕③村のスケッチ「詩」 柚木厚太郎

夕③「も」に就いて 辰己赤夫

夕③のたれ者(になつたと言ふ人へ)「詩」

藤代哲

夕③垂穂集「短歌」 草の穂、農村風景 中 曾根白史/信濃の秋 哉木比呂志/をり

をりの歌 早水ふく子/朝草刈り 船津

重雄/夕立 松浪幸三郎/花火 南小路

薫/秋雑詠 高瀬政一/故郷行其の他

牧丘草之助

13日(月)

朝③美術王国帝展入選の榮に浴した本県出身 の人々 塚本、田中、新野、神保の四氏

朝③裸婦の製作にまづ失敗「青衣の婦人」を 描くまで帝展入選七回 塚本君の苦心

15日(水)

夕③「漫画」 難波盛夫、一二三、奥山辰夫、



山田三郎

〈上毛漫画サロン〉

夕③結婚様式に改革を加ふるは今 国産品愛

用、消費節約の声高き時が因襲打破期

棚橋源太郎(談)

16日(木)

朝③赤城裏山開墾事業 低資で断行する場合

は政府の助成金は交付されぬ事になり地

元負担額が増加す

朝③帝展日本画に見事に入選 佐波出身の磯

部草丘氏 是も佐波の石原紫雲氏

夕①「漫画」 モリオ

夕③予算編成とは如何なることか 国の収入、

支出はどうして切り盛りされるか 青木

守(談)

夕③血族から受ける少年の性格異常 遺伝的

負因を持つ者五割三分 東京武蔵野感化

院調

17日(金)

朝③教育勅語謹解を一万の児童に配布す

朝③女に選挙権を与へたら男子は頭が上らぬ

本県の調査では断然女の方が多し 男女

同権を超越して

夕③国立公園として選ばれる条件 地方的利

害に偏せず全国民の観光利用に 田村剛

(談)

19日(日)

夕③秋夜吟詠「短歌」 田島武夫

夕③秋風漫筆 杉田謙作

夕③秋の詩、部屋「詩」 藤原祐之輔

夕③春の作一九三〇年「彫刻」 北村正信

夕③重病「詩」 秋岡遼

夕③ふるさとの地、霊祭と朝のこなく「短歌」

小倉桑平

21日(火)

朝①群馬県衛生協会主催日本中央結核予防会

第四回総会

朝②翠雲画伯歓送会 独逸に派遣さるる為め

夕③家庭経済から観た月賦購入の得失

夕③艶態を忘れぬ女犯と其心理 恐ろしい犯

罪を犯しても矢張り女は女だ

夕③郷土の誇 高山彦九郎先師を読む 暁治

22日(水)

夕②沼田芸妓が「利根小唄」をAKから放送

夕②赤城裏山開墾の移住希望者殺到

夕③家庭生活の根柢 予算と計画

夕③「漫画」 難波盛夫、一三三、山口豊専、

大介、田村辰三 〈上毛漫画サロン〉

23日(木)

朝③早慶戦夜話(1) 白石実三(〜10月25日(3))

24日(金)

夕②「利根はよいとこ温泉の郷よ」 沼田花

柳で「利根小唄」公演会 廿四日五日沼

田劇場で

夕②利根小唄

夕③家庭の和楽は予算生活から生る不況救

済、生活線向上の為め自覚を要す 棚橋

源太郎(談)

25日(土)

夕①「日嗣の皇子のかしこき御言」 令旨奉

戴記念式に合唱の奉答歌 県下青年団へ

配布

夕②変つて来た現代女学生思想 卒業後は職

業婦人を志す者が多くなつた

夕③婦人の驚く可き貞操観念の変異 生活苦

の結果か唯物思想の湿潤か 警視庁人事

相談係長 中井武蔵(談)

夕③炭火中毒と日本婦人の生活 婦人の神経

疾患は多く炭火の中毒から 竹内松次郎

(談)

26日(日)

夕①大蔵省で削除された草津の癩療養地区

創設費を始め重要な内務省の新規事業

復活を要求実現に努力

夕②教育勅語に関する大講演会 嘉納治五郎

氏を招聘して県市教育会聯合主催

夕③宮城を遥拝する愛国精神病者 服装も立

派に国民思想の悪化を非憤慨歎す 日比

谷署警務主任 川原保雄(談)

夕③世に馬鹿は居ない 周囲の指導が悪い 指

導の如何で隠れた非凡の技能を発揮す

斉藤平義智(談)

27日(月)

朝③月曜講話 風のお話 前橋測候所 室伏所

長(談)

朝③利根小唄公演 水上三香園で

28日(火)

朝②琴荘会の総会

- 朝③ 桐生織物の濫觴に有力な異説現はる織  
祖白瀧姫は桐生には縁なき人 古来の伝  
説覆るか
- 29日(水)  
夕③ 「漫画」 難波盛夫、山口豊専、城舟、須  
田、田村辰三 へ上毛漫画サロン  
夕③ 何故、世は不安か 信は処世の宝 信ある  
ものは決して失業せず 松井茂(談)  
夕③ みのり集「俳句」とみ女、せつ女、ふみ  
江、きぬ女、大\*生
- 30日(木)  
朝② 教育勅語に関する記念講演 嘉納治五郎  
氏瀧蓄を披瀝 きのふ臨江閣別館で  
朝③ 芸妓総出でお祭り騒ぎ 明日に迫った河  
合ダンス 前景気は上々吉  
夕② 赤城裏山の移住者多し  
夕③ 文化が齎した現代生活の複雑化 生活を  
単純化して人生を真実にせよ \*女高等  
女学校校長 宮田修(談)
- 31日(金)  
朝③ 河合ダンス蓋明け 桐生駅着は零時五分  
朝③ 愈、宙に迷った機祖白瀧姫 兵庫の異説に  
対抗して又もや後裔が飛出す  
夕② 西毛史蹟巡り(1) 斬殺された英雄小栗上  
野介の遺跡を雑草に掩はれた烏河原に訪  
ふ 秋は悲し「負くれば是れ賊」の嘆  
清水 (11月7日(6))  
夕③ 皇后陛下様の御聖訓を仰ぐ 御着帯式を  
御寿ぎ申し上げて 後閑菊野(談)
- 夕③ 郷土芸術の都会化を排す 水田静児  
(談)  
昭和5年(1930) 11月  
1日(土)  
夕② 西毛史蹟巡り(2) 昔を偲ぶ英雄の意気今  
も尚ほ燃えあがる火薬の余力 小栗上野  
介の遺物参観 清水  
夕③ 主婦の知つて置くべき不景気と経済の話  
太田正孝(談)  
2日(日)  
夕② 西毛史蹟巡り(3) 賊名を負った主に殉じ  
た小栗氏の六家臣 晩秋の陽、淡くさす奥  
津城に見る哀愁 清水  
夕② 明治大帝御霊前に聖上、親しく御参拜  
夕② 前橋仏教青年会創立計画さる 十五日会  
議所で委員会を開く 僧侶以下の青年結  
成  
夕② 国産愛用の童謡と標語 小学生諸君から  
募集 文部、農林、商工三省も後援  
夕③ 全日本の小学児童諸君！お国のために国  
産愛用の歌を作つて下さい 後援商工  
省・文部省・内務省「広告」  
夕④ 紅葉白露 綿貫六助  
夕④ 夜道「詩」 藤原祐之輔  
夕④ 一つの心配 共同制作に就いて 藤島鶴  
三郎  
夕④ 感想 杉田謙作  
夕④ 「霜害警報」について 三谷川篤  
夕④ 独自の詩風独歩の詩境 森千魁
- 夕④ 冷たい霧の中で「詩」 柚木厚太郎  
夕④ お礼に代へて 岡部宇一郎  
夕④ 「霜害警報」・著者・俺 田島嘉之  
夕④ シヤツポを振る 大槻三好  
3日(月)  
朝③ 紅唇をつく熱弁は婦人参政権の獲得金  
沢市の北陸婦選大会へ本県から八木橋、  
坂内二女史が参加  
5日(水)  
朝② 教育勅語記念講演 群馬郡教育会  
夕② 西毛史蹟巡り(4) 今は昔、黍畑と化した名  
馬「権田栗毛」の遺跡 草深い、信濃路続  
の径のほとり 清水  
夕③ 「漫画」 難波盛夫、霧社蕃、山口豊専、  
一三三、尻古平 へ上毛漫画サロン  
夕③ 教員の多くは経済思想に乏しい 真面目  
な経済学書で正しい理解と識見を 東京  
高師教授 中島信虎(談)  
夕③ 子供の作品募集「告知」  
夕③ 温い母の愛 継父の子と継母の子の不良  
児調べ  
6日(木)  
夕② 西毛史蹟巡り(5) 香煙縷々として立ち單  
めてありし日の俠豪を物語る 大戸の関  
跡にたつ忠治地蔵の追憶 清水  
夕③ 永へに夫婦間の愛情を保つには目前の事  
のみでなく周囲を忘れぬ心配り 山田わ  
か(談)  
夕③ 小学校の音楽鑑賞用標準レコードと解説

- 東宮一雄の近業を礼讃(1) 宮田久二雄  
 (11月7日(2))
- 夕③乳児死亡率は日本が世界一 主婦に科学知識が乏しいからだと専門家の話
- 7日(金)
- 朝②県下小学校に先生の方面委員設置 貧困児童の救済と不良児善導充実 全国で初めての試み
- 朝③何がさうさせたか失業者の犯罪 最近激増したすり搔払ひ板の間稼ぎ 県下犯罪件数実に八千
- 朝③翠雲画伯の歓送宴と画会 来春独乙へ美術使節として出発 十三日臨江閣で盛宴
- 夕②西毛史蹟巡り(6) 御仕置御用の立札付きで大戸の関所まで送られたさすがに俠豪忠治華やかな最期 清水
- 夕②親子心中や棄児の数激増
- 夕③公民権と同時に婦選権を与へよ 思ひ切つて婦人の活動舞台を認めよ 柳葉清子 (談)
- 夕③大量生産は濫造では無い 出来台ひを嫌ふ悪い癖 日本産業能率研究所
- 8日(土)
- 夕②台湾の蕃人は九種族 最も反抗し易い種族は今回の事件を惹起したタイヤル族 花蓮港女学校長 井上正男 (談)
- 夕②家庭教育相談所 全国に設置 文部省社会教育局の計画
- 9日(日)
- 朝③高崎上水道浄水場で弥生式土器を発見 かつて例を見ない完全なものが三個 三百年以前の物か
- 朝③こんがらがった兄弟夫婦の戸籍
- 夕①公娼制度の廃止に国際聯盟協会婦人部活動 内務省の準備調査に火の手上る
- 夕②首狩りは往昔の夢 今は狩猟に名残を留める 台湾蕃社に於ける児童の教育 花蓮港女学校長 井上正男 (談)
- 夕③奥利根の秋 島岡利二
- 夕③親と子と「詩」 興津次郎
- 夕③秋のひだまり 高円寺六郎
- 夕③「霜害警報」概感 横堀真太郎
- 夕③味はふ男「詩」 大谷晴月
- 夕③「村の詩集」を読みながら 横堀恒子
- 夕③霜害警報 高橋かつじ
- 夕③栗の実「短歌」 鈴木葦舟
- 夕③朝寒「短歌」 卯美野
- 夕③わらははべ「短歌」 佐藤恒雄
- 夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」ダ  
 リヤ島 青柳花明／土提の子供 小野吉郎／叱られて 狩野モリオ／夜 牧丘草之介／母さん待つ夜 坂本八重
- 10日(月)
- 朝②わが国、初の婦人の医学博士 聴器に就いての研究論文 帝大医学部教授会を通過して
- 11日(火)
- 朝④探偵読本(2) 復讐鬼「小説」(1) 丘晃一郎、住谷磐根、中西洋々、井上尚陸、橋場鮎刺 (11月29日(18))
- 夕①日本訪問の英国女流飛行家ブルース夫人 香港到着
- 夕②明春から一斉に女学校に公民科 婦選時代に備ふる為高女校長協会の案
- 夕③偉人の出現は両親の円熟に關係 円熟の親に偉人多く二男三男に偉人多し 寛寛之(談)
- 夕③性欲の乱費は早逝老衰の因 瘦馬に鞭打つが如き不自然の行費を避けよ 有木三郎(談)
- 夕③冬のお花 永井理鷹(談)
- 12日(水)
- 朝②草津癩療養所設立費復活
- 朝②赤城裏山開墾に耕整組合を設立
- 朝③慈光婦人会 礼讃舞研究を始める
- 夕②弥生式土器完全なる発見は好事家間により資料 豊国覚堂氏語る
- 夕③「漫画」 田村辰三、サンジ、山口豊専、難波盛夫、一二三、高橋清治、久保庭大三郎、城舟
- 夕③探偵小説断章(1) 甲賀三郎 (11月14日(3))
- 夕③麻雀協会成立 (麻雀欄)
- 13日(木)
- 朝②郷土資料展の出品きのふから受付を開始
- 朝③サロン・ドウトンヌへ入選 南城一雄氏

- 朝③世界に冠たる日本の絵画 小室翠雲歓送  
画会に出席 臨江閣別館で語る
- 朝③けふ、落成式を挙行 モダン附属小学校  
次いで成績品の展覧会
- 朝③上級学校進出減少就職希望者が増加前  
橋紹介管内廿六校の明春小学卒業生十  
八日職業指導協議会
- 夕③婦人の政治教育にラヂオを利用せよ家  
庭には勿論如何なる山間僻地にも徹底す  
る 市川房枝（談）
- 14日（金）
- 朝③小学教育の王座にふさはしい内容を盛つ  
て男師範講堂で附属校の盛大な落成式  
朝野の名士参列して挙行
- 朝③捕手を悩ました「忠治の短銃」伊勢崎町  
北校から郷土展へ出品 大衆的興味をひ  
く珍品
- 夕②賑ふ家庭教育展
- 夕②区域も広く人員も増加 制糸製糸工女紹  
介幹旋きのふ締切つた前橋紹介所の求  
人は前年より七百名の増加
- 15日（土）
- 朝③国際連名から廃娼視察に来県 内務省打  
合会から森川氏帰る
- 夕②美術使節の翠雲画伯の大歓送画会の盛況  
十三日臨江閣別館にて
- 夕③現代稀に見る軍人の母の篤志 積り積つ  
た扶助料五千元を靖国神社に全部寄進  
賀茂官司の感激談
- 夕③冷たい晩秋 不景気で失業者は昨年より  
高率 特にひどい日傭人の失業率
- 16日（日）
- 朝③警察部長官舎を飾る小室翠雲画伯の力作  
田中部長が私財を抛つての委嘱に感激  
の画伯が帰朝後の執筆を快諾す
- 夕②群馬会館落成記念工芸展 名称、出品規則  
其他の立案成る 總裁は堀田知事
- 夕③経済難局を救ふ国産愛用運動の伸張世  
界的運動傾向に遅れずに奮起せよ 内務  
省社会局 藤野恵（談）
- 夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」仔  
戈 深津美歌雄／墓まゐり、道忘草、鼯  
の魚取り 橋本暮村
- 18日（火）
- 朝③大廉売デーと民謡大会 其他レヴュー団  
を招聘する等高崎市の恵比寿講
- 夕②「音楽と舞踊の会」群馬会館で
- 夕②慈光婦女会の試演
- 夕③餅はもち屋 国防は陸海軍に先づ国の安  
全が第一 申訳的減税は不可であらう  
蜷川新（談）
- 夕③工場労働者に癌の発生多し 一種の文化  
病職業的問題
- 19日（水）
- 夕①ブルース夫人一路京城へ
- 夕③学課の好き嫌ひに親御さんは御注意子  
供の性情が自然判る 不良児は概して算  
術が不得手である 保美駒蔵（談）
- 夕③素人の「麻雀観」 藤島誠夫 〈麻雀欄〉
- 20日（木）
- 夕①ブルース夫人二十日入京
- 夕②小室翠雲画伯渡欧
- 夕②「赤城」乗組将校が小学校で講演会 廿  
一日早朝守護神赤城神社参拝 廿日来橋  
して市内見学
- 夕③家の改良から経済的な趣味生活 日本独  
特の貴さとその個性を忘るな 東京高等  
工芸学校教授 木檜恕一（談）
- 夕③自然に帰れ田舎に帰れ 文化の都会は人  
間個々の保健の場所ではない
- 21日（金）
- 朝③草津瀨自由療養村 建設計画に着手せよ  
と内務省から本県へ通牒
- 朝③松村琴荘氏の出発期
- 朝③新装の群馬会館落成記念展 廿九日から  
五日迄一週間
- 夕①ブルース夫人京城出発は天候險悪のため  
延期
- 夕③令旨奉戴十年記念として青年の禁酒を希  
望 高島米峰
- 夕③台湾蕃族の貞操観念 文明人に見られぬ  
厳格なる性道徳観念 元台湾総督府理蕃  
課長 中田秀造（談）
- 22日（土）
- 朝②ブルース夫人日本海突破
- 朝③群馬会館の落成式を祝して前橋では廉価  
デー開催

- 朝③楽壇の変わり物ダン氏夫妻二十三日前橋高女で演奏
- 夕①工芸品展の出品一万六千点一番多いのは食料品や考案品群馬会館開館近づく
- 夕②京城を出発 一路大阪へ飛ぶ ※ブルー夫人
- 夕②群馬会館は此限りにあらず
- 夕③何が彼等を不良にさせたか冷たい此の統計を見よ 東京少年審判所調べ
- 夕③酒飲みの子の死亡率調べ 普通の子との差、倍以上
- 23日(日)
- 朝③公民的教養の普及向上に教化団体としての方針協議 第七回全国大会に於て
- 朝③工芸品展の出品一万六千点
- 夕①暗に咲く女全県下に八百人時代の流れる
- と開業制限に阻まれ漸次衰頹の傾向を辿る
- 夕③いなめのめ会例会「俳句」仲春(記)／雨亭、吐秋、仲春、茂樹、楚水
- 夕③エストウディアンテナを語る 清見四郎
- 夕③一つの歌集(1) 田島武夫(〜11月30日(2))
- 夕③生活の道「詩」岡部宇一郎
- 夕③「霜害警報」出版記念の夕べ「写真」
- 夕③モノロウグ 非文芸的随想 藤島誠夫
- 夕③死んだ絵かきさん 松村菊太郎君の死を悼む、焚火「詩」青柳花明
- 夕③昔日を偲ぶ「短歌」永井すみ夫
- 夕③奉祝塔「短歌」小倉桑な
- 夕③都も秋「短歌」岸とらを
- 24日(月)
- 朝①「漫画」難波盛夫、山口豊専、一二三
- 朝②浮世絵に見る「エロ百パーセント」溪齋英泉の傑作版画 一作毎に好事家をうならせたもの 艶姿化粧自慢「画」国周、遊\*、五渡亭国貞
- 朝②冬と花物 浅川英一
- 朝②冬の女子スポーツ ハネゲームを奨励せよ 岡村慶子(談)
- 朝②窃盜狂の日記 島岡利二
- 朝②可愛い、おいた「漫画」難波盛夫
- 朝③少年期の読物は性格に強く影響 文芸物は変態的生理を発動させぬものを 松本亦太郎(談)
- 朝③小児麻痺症は恐ろしい病気 内務省技師 副島正(談)
- 朝③国境の初冬「画」福田長太郎
- 朝③滑稽手品 八疋
- 朝③脱線ジャズ講談 橘家鍋蔵
- 朝③「作文」僕のお父さん 群馬郡中郷校 尋三 高橋美喜夫／楽しい夕飯 群馬郡 相馬校尋五 金井助太郎
- 朝③「童謡」たこ上げ 安中校三学年 原田 敏平／木の葉 同校 細川賢治／十日ん夜 群馬郡下室田校尋四 中島利八／稻かり 群馬郡豊秋校高一 木村勇
- 朝③「習字」男附尋六 境野龍太良、桐生東
- 校尋四 島田良一、群馬郡中郷校尋一オ ブチイサラ
- 朝③「画」安中校尋三 猪狩進、高崎市第一 幼稚園松ノ組 須賀好真、前橋市立桃井 校尋一 野口一郎、群馬郡長尾校尋四 高 橋貴
- 朝③桐生紹介号
- 25日(火)
- 朝②空の女王、ブルース夫人愈々晴の立川入り
- 朝③京都一徳会で孝子節婦を表彰
- 夕②明春の卒業生を早くも売り込み 卒業はしたけれど
- 夕③今後の子女教育と母親の社会的自覚 社会的自覚には政治的権利が必要 竹内茂史
- 夕③鑑賞教授に於ける蓄音機の利用について (1) 群馬県女子師範学校教諭 岩上行忍 (談) (〜11月27日(3))
- 26日(水)
- 朝②文芸戦線の本部派と脱退派 血塗れ騒ぎを演出す
- 朝③俺が村の誇り 自慢の咽喉 高崎市の民謡 舞踊競演大会 二十四日夜二ヶ所で
- 夕②「青い鳥」立川に安着「写真」
- 夕③農村生活の悪因習をどうする 総合的計画的な方策を必要とす 文部省嘱託片岡重助(談)
- 夕③少年少女の映画熱の調べ 三四年生の半

数は愛好者

27日(木)

朝③山田耕作氏楽壇生活廿五年記念音楽会を  
高崎で廿九日夜公会堂で開く

夕③力強く脈打つ国民性と心学 新しく建設  
さるべき我が国民の目標は？ 文部省社

会教育局長 関谷龍吉(談)

夕③勅題「社頭雪」詠進の仕方 羽鳥羽衣  
(談)

夕③文化が進むと晩婚者が多い 年々結婚期  
が遅くなりつゝある

28日(金)

夕③メリンスの代りに銘仙を用ひなさい 家  
庭経済、国産愛用から見て銘仙が徳用で  
す 大妻コタカ(談)

29日(土)

朝②高崎名物「孝行しんこ屋」山田正夫君、  
一徳会から表彰さる

朝③本県文化と産業の殿堂群馬会館の落成式  
けふ、朝野の貴賓参列盛大に挙行

夕③変形して更生する物品の使用価値 廃物  
の夏羽織は袴、帯に工夫出来求る 大妻  
コタカ(談)

夕③文化の進歩は早死の原因 事実はその反  
対医学者の貢献顕著

夕③恋の花なら「詩」 狩野登美次

夕③音楽会と展覧会 富岡芳文

30日(日)

朝②空の女王ブルース夫人「写真」

朝③初冬の空麗らかに祝福の群馬会館きの  
ふ、内外の貴賓参列落成の式典も華々し  
く

朝④探偵読本(87)二つの殺人「小説」(1) 丘  
晃一郎、住谷磐根、中西洋々、井上高陸、  
橋場鮎刺 (翌年1月18日(35))

夕②文部省益々映画教育を重視

夕③前橋風景 広瀬川、街路樹 杉田謙作

夕③月夜野劇場松本錦枝紅葉興行 綿貫六助

夕③霜月抄「短歌」 観音山遠足、ある日、初  
冬 早水城春

夕③海洋を想ふ「画」 新野歆一

夕③山の湯、初雪(十月廿一日) 「短歌」 河  
原映司

夕③港街の女(1) 吉井忠男 (12月14日(3))

昭和5年(1930) 12月

1日(月)

朝②欧米の映画印象 実質的な米国の映画教  
育 子供専門の英吉利の映画館 西田博士  
の滞欧余談

2日(火)

夕③憧れの東京に張られた魔の手 停車場に  
汽車が着く前に誘惑の手を払げる

夕③主婦の日程は能率主義に朝のスタート  
の良し悪しできまる 日本女子大学校  
氏家寿子(談)

3日(水)

夕③「漫画」 久保庭大三郎、原沢サンジ、一  
二三、落合武平、鈴木藤一郎、難波盛夫、

城舟 (上毛漫画サロン)

夕③家庭教育の根本眼目に就て 子供を正確  
に判断し清温な母性愛で導く 宮田修  
(談)

4日(木)

夕②農村窮乏の実状と社会施設の調査に研究  
会政務審査部の幹事及び委員連 二日来  
県各方面視察

夕②国産愛用の童謡と標語募集 締切りは十  
二月十日 応募者は小学校の生徒に限る

夕③歳末売出しと家庭の経済 必要止むを得  
ない買物と真の節約とは 帆走みゆき  
(談)

夕③家庭予算のつくり方 全員の合議制にし  
て経済状態を知らしめよ 荒井信子  
(談)

夕③初冬スナツプ 街の工場で モリヲ

5日(金)

朝②ブルース夫人日本を去る

夕①全国婦人団体を打つて一丸に 来春早々  
創立大会開く

夕③文明が齎した文化人の栄養不良 食物に  
対する常識の必要は他人事ではない 竹  
内松次郎(談)

夕③一九三〇年回顧 新進プロ作家台頭の文  
壇 内藤透(談) / 画壇の一年 平田香  
堂(談)

6日(土)

夕③智識階級失業救済と学閥打破門戸開放

深刻なる就職難失業苦 今後は人物本位  
で採用を 東京市社会局長 安井誠一郎

(談)

7日(日)

夕③秋の子持山「短歌」 須藤泰一郎

夕③手紙 小野忠孝

夕③十一月集「短歌」 船津重夫<sup>マツ</sup>

夕③雑詠「短歌」 清水琴子

夕③いなめのめ会「俳句」 歌男、仲春、雨亭、  
吐秋、赤陽子、如友

夕③母の病む日、母・病む、Y博士来る、食

塩注射「詩」 岡部宇一郎

夕③初冬「詩」 萩原憲

夕③街「詩」 藤原祐之輔

8日(月)

朝③基督教界の大先学新島氏の未亡人が仏教

に入る キリスト教以上だとの理由

朝③和服姿で欧米を闊歩した宮川一貫氏(1)

(〜12月10日③)

9日(火)

夕③子が可愛いなら母親は酒害を知れ 廿五

歳禁酒法実現は杯を持たぬ婦人の手で

守屋東(談)

夕③三ツ葉「童謡」 芳太郎

10日(水)

夕①公民権の年齢は男女共二十歳 内務省側

の有力な意見

夕③奢侈的行為の社会への反響 奢侈がどん

なに思想的関係を持つか 井上秀子

(談)

11日(木)

朝②人類愛から見て芸妓税は高過るといふ増

山君の迷論、相次いで醜業婦税の充当は

教育の冒瀆だといふ清水君 群馬県会第

十六日目

朝②全国の失業者三十二万二千五百 東京最

も多く次は大阪 群馬県は三千七百人 国

勢調査に現はれたる数字

夕②農村疲弊の深刻化に伴つて本年の小作争

議は異常に増加 内務省社会局の調査

夕③一九三一年映画雜観(1) (〜12月13日③)

〈キネマのページ〉

12日(金)

朝②学校騒動対策 私大学長会議きのふ文相

官邸で開く

朝②楠木画伯襲はる

朝③本県の総人口百十八万六千を算す

朝③県下女教員の実力向上に 山本、井上両女

史を聘して 家事裁縫の冬季講習

夕①深刻に変化 小作争議の傾向

夕①幼心を傷つける「私生子」と云ふ文字

小学校卒業証書に戸主との続柄の記載撤

廃の運動起る

夕③忽せにならぬ児童の金銭教育 先づ環境

と年齢に応じてお金は上手に与へよ 森

山一郎(談)

夕③料理の真美を現す理想的献立の条件 栄

養体裁嗜好経済に適する事を要す 進藤

真砂(談)

夕③川柳で描く日本史(1) 菁花(11丸山清

康) 難波盛夫「画」(〜翌年3月21日(66))

13日(土)

夕②私生子、庶子証書記載の撤廃 各方面で

猛烈運動開始

夕③家庭で心得べき歳末の警戒 年の瀬が押

詰るに伴ひ色々な犯行が多くなる 警視

庁警視 保科久義(談)

14日(日)

朝②小学教員に対する政治教育きのふ文部

省議を開く

夕③一九三〇年に於ける上毛詩界概要 清水

房之丞

夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」 タ

クシーの窓 小野吉郎／盲目の甚さん

とラザラ 青羽春夫／風吹く日暮 古谷

野茂登子／柘榴食べ食べ 小平房雄

夕③木馬「詩」 大概三好

夕③鳥声集「詩」(1) 光、秋月 小野忠孝／

母・快方に向ふ 岡部宇一郎／死 藤原

祐之助／ひたい、かげ、灰 栗原道子／

屠夫の歌 多駄羅十吉

16日(火)

夕③お歳暮贈答は実質的を主眼に相手方の実

生活や趣味に合致せしむ

夕③歳末のやりくり漫談 大辻司郎

17日(水)

朝③歳末展望 台年の瀬を控へて無職、無食に

- 喘ぐ人々
- 朝③新天地開拓に北海道移住激増  
18日(木)
- 朝②小児の虐待防止に児童監護法案成る  
夕③台所に於ける衛生的設備色々 鈴木仙治  
(談)
- 19日(金)
- 夕②各地方に揚る廃娼の叫び
- 夕③冬のスポーツ スキーの歴史 吉田章信  
(談)
- 20日(土)
- 夕③学生側の主張大体貫徹す 明大騒動円満に解決
- 夕③名土邸専門の賊「西部戦線」の勇士元築地小劇場の俳優 片手間に泥棒を稼ぐ
- 夕③入学難緩和に大学万能を排せ 学校が人の前途を規定する現実社会を破れ 田中忠治(談)
- 21日(日)
- 夕③伊香保だより(1) 須藤泰一郎  
(12月28日(5))
- 夕③若き美術家に寄す(帝展プロレタリア美術) 原沢柳志
- 夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」 写生、どんぐり林、お留守居 小平房雄／ペリンカン 青柳花明／どんぐり 古谷野茂登子
- 夕③堤社歌会「短歌」 大友農夫寿、小見\*赤子、野口洋子、福本研、池田広二、松村朝子、平林俊雄、倉田徳子、中島黙像、新井桃二、東小園、青木多三郎、志村つとむ、鳥山正二
- 夕③いなめ会「俳句」 赤陽子、雨亭、仲春、吐秋、如友、一草、歌男
- 23日(火)
- 夕③道徳的に反省せば自己の責任を感じず世間の罪悪は之れ自己自身のもの 富士川游(談)
- 夕③児童の発育は環境に影響さる
- 夕③クリスマス前の夜「童話」(1) 杉並翠子  
(12月25日(3))
- 24日(水)
- 朝②婦徳を涵養し公益事業に精進するのが目的で生れた前橋婦人会の青年部
- 朝②冬期帰省の左傾学生に注意 現下社会事に鑑み文部当局頻りに悩む
- 夕②赤城裏山の水路開鑿は来春四月
- 25日(木)
- 朝③郷土展の逸品数々 永久に陳列する
- 夕③小学校卒業で就職する者が多い 今は学土様も何の役にも立たない
- 夕③文学の将来とその展望(1) 細田民樹  
(12月28日(2))
- 27日(土)
- 朝③女性も男性と協同労作をとれ 本県聯合女教員講習会へ出席の女大教授 井上秀子 女史語る
- 夕①婦人公民権 漸を追ふて拡張 婦人参政同盟代表者に会見して安達内相答ふ
- 夕②先輩、日本を驚かす木版画展チエツコで日本へ進出
- 夕③刑務所の生活は安住地帯
- 夕③素直な心の人々が長生きをする
- 28日(日)
- 朝④不況時に於ける国民の覚悟を希望 何時になつたら直るか 法学博士津村秀松氏の意見
- 夕②年末に直面して失業者は増加 男二千五百八十三人、女千六十七人 十二月一日現在の調査
- 夕③旅の手帖より「短歌」 磯部にて、大洗金波楼にて、藪塚鉾泉、戸倉温泉にて、榛名湖にて 伊久間隆本
- 夕③月光「詩」 高橋昌吾
- 夕③時計「詩」 栗原道子
- 夕③童謡私記 青柳花明
- 夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」 落葉の馳け足 青柳花明／雲洩れ日射し 小野吉郎／秋の小景 大和丑郎／お使ひ、学校の帰り 小平房雄
- 29日(月)
- 朝③婦人公民権もし実現すれば文字通り女天下 男子の有権者よりも断然多い 名実共に上州名物
- 昭和6年(1931) 1月 1日(木)
- ③職業婦人座談会 何が彼女をさうさせたか



- 職業婦人達の感想を聴く(1) 参加者…真中すゞ、佐藤あき子、石崎りん、関谷梅、永井理鷹、加藤、大竹よし、松布喜代、鈴垣君代、三町敏江、宮田敏子、田村綾子、今井雅子、川辺ふみ (〜1月7日(6))
- ⑥ ロムプロゾオの研究に符合する歌舞伎の悪形健康のくせに青い顔は悪人の相 前橋弁護士会長 島岡利二(談) 関口高次郎(画)
- ⑥ 三一年度の映画界に君臨する新顔スター覗き
- ⑥ 勅題社頭の雪 松榮齊佐藤理寿
- ⑥ 茂林寺の春「画」 落合もんか
- ⑥ 水道水源地にて、吾子のこと、歳晩のうた「短歌」 竹内茂登子
- ⑥ 待たるゝまどひ 前橋婦人会 吉例の互礼会
- ⑥ 元日「童謡」 小野吉郎
- ⑥ お正月の面白い遊び方(1) (〜1月8日(3))
- ⑥ 天国の羊「童話」(1) 松本苦味 小寺耕嶺(画) (〜1月9日(4))
- ⑦ 1931年新着漫画「漫画」 山口豊専、難波盛夫、一三三、福田テン太郎
- ⑧ 羊の義侠「落語」 入船亭扇橋
- ⑨ エロ奇談 羊と洋妾の話
- ⑩ 苦境を突破して光明境に進め 生活苦を礼讃しつゝ向上機会を逸するな 東洋大学々長 中島徳蔵(談)
- ⑬ 世界に漲る失業者の群
- ⑮ 乗合春淡雪「講談」(1) 幡谷澄夫
- 3日(土) (〜1月4日(2))
- 朝② 羊太夫の事(1) 豊国覚堂(〜1月6日(4))
- 4日(日)
- 朝② 黄金の十字架上に苦しむ国民を救済せよ 国民同志会長 武藤山治(談)
- 朝② 社頭雪「画」 重広
- 朝③「画」 橋本閑雪
- 5日(月)
- 朝② 農村救済の具体策 農民の自覚と協力が必要(1) (〜1月6日(2))
- 朝③「画」 中川紀元
- 朝③「画」 野村雪江
- 6日(火)
- 朝③「画」 丸山晚霞
- 7日(水)
- 朝② あどけない芝居や遊戯に前橋市立幼稚園の同窓会 春季大会群馬会館で <子供の国>
- 朝③「画」 長野草風
- 朝③ 郷土資料陳列所いよく具体化す 陳列室の借受決定すれば再び世に出る珍品
- 朝③ 羊太夫の事(補遺) 豊国覚堂
- 夕① 初春の読物 餅マージャン(1) 島田静緒 (〜1月10日(3))
- 夕③ 新年を迎ふるに方り婦人の地位向上を祝し新時代への要求を述べ(1) 山脇高等女学校長 山脇房子(談) (〜1月8日(2))
- 8日(木)
- 朝② 社頭雪「画」 吉村忠夫
- 朝③「画」 磯田長秋
- 夕② 職業婦人群像 猟奇趣味から見た(1) (〜1月10日(3))
- 夕③ 女性の美 エロの誘惑二つの方面から観た 女性美の引力 富士川游(談)
- 9日(金)
- 夕③ 男女発育上の差は婦人問題の研究や性的生活の根本となる 中井卓次郎(談)
- 夕③ 夢の解剖(1) 須賀泉 (〜1月11日(3))
- 夕③ かるた「画」 岩田専太郎
- 10日(土)
- 朝② 情操教育にも力を入れて 春秋に全果的美術や音楽大会 従来は体育偏重の弊
- 夕② 離婚と産児制限 羅馬法王の攻撃 各大僧正に回章配布
- 夕③ 就職難緩和策に職業指導を奨励 個性観察の可否は児童の生涯に影響する重大事 東京市囑託 浜中浜太郎(談)
- 夕③ 縁結の神は出雲大国主命の艶福 須勢理 姫命の妬みごと 仲睦まじく永遠に出 雲大社 千家尊建(談)
- 夕③ 面白い羊物語(1) (〜1月11日(2))
- 11日(日)
- 夕① 新作羊異変草紙(1) 香川春夫 (〜1月15日(4))
- 夕② エログロ狂騒曲(1) 「袁世凱」と紅星玉 安芸礼太郎
- 夕③ 冬の登山遭難は自ら求む者が多い 先づ

- 準備と研究が肝要 武田久吉（談）
- 夕③早梅「画」 川端龍子
- 12日（月）
- 朝③女給の前身 土地柄工女多数 教育程度も以前より上がった 前橋署管内に二百三十余人
- 朝③自宅療養の癩患者を調査し極力全生病院へ入院を勧誘 送致患者本県は不良
- 13日（火）
- 朝③准教員から中等教員にまで 若き哲学者が研究振 文検をパスした徳田進氏
- 夕②エログロ狂騒曲(2) エロの治外法権 芸礼太郎
- 夕②不思議な世界 花の咲かぬ植物の伝説 高崎実践女学校教諭 土屋英樹（談）
- 14日（水）
- 朝②赤城裏山開墾 大正用水計画等々
- 朝②女子教育改善 文部省方針
- 朝②部落単位に家庭婦人の「母の会」 最近文部省の訓令で機運更に熟し目下具体案を作製中
- 朝②産児制限聯盟組織さる
- 夕①小室翠雲画伯 伯林で病む
- 夕②一九三一年型映画人オン・パレード 世界の道はホリウッドへ(1)（～1月16日(3)）
- 夕②前借を支払はねば抱娼妓は引渡さぬ 救世軍の交渉に対して本庄深谷の当業者緊急協議して決定
- 夕③「漫画」 岡田まさ路、田村辰三、難波盛夫、一三三、八木大郎へ上毛漫画サロンへ
- 夕③帯の勅題むすび 遠藤波津子
- 夕③京洛の春の昔 懸想文売の話 年立つ長閑さに淡い恋情
- 15日（木）
- 朝②自治精神向上の「壮年団」組織 廿五年以上の壮年男子の団体 全国で始めての試み
- 朝③学窓を出でて生活戦線に起つ少年にも就職難 昨年度の幼き失業者七百廿四人卒業期を控へて不安
- 朝③国産愛用の童謡と標語入選 応募総数三万余通から厳選 純真優秀な児童の作品
- 「標語」 桐生昭和校尋六 清水マサエ、邑柴伊奈良校 増田忠作、吾妻高山高等校 奈良鷹亮、北甘棠下仁田校高一 工藤梅、北甘棠小野校 新\*みつ、勢多筑井校高一 今泉富子、群馬古巻校尋六 中沢元次、勢多駒形校尋六 塩浦一之輔／「童謡」 新田郡九合校 大槻みゑ、吾妻岩島校尋六 一場ニイ
- 夕②国民文芸会で演劇家推奨 中車丈、遠山氏、静枝女史、三氏に決定、月末推奨会を開く
- 夕③近代婦人の生活と貞操擁護問題 経済的 生活意識の変転と物質文化の美点と弊風 吉岡弥生（談）
- 16日（金）
- 夕①山本女史の家事科視察日割又々変更さる
- 夕①極左運動の学生三十名処分 全生徒には戒告を発す 新潟高校生秘密結社を作る
- 夕②衰頹を辿る郷土娯楽の現状 郷土芸術保存の声起る
- 夕③何故老人は菜食が良いか 特に腎臓保護の為若い間は菜肉混食 東京栄養研究所 調
- 夕③藪入りの話 左義長の儀式とどんど焼 昔は小僧の公休日
- 17日（土）
- 朝②一九三一年の世界無電網 世界をより速くより狭くする 現実化する痴人の夢(1)（～1月19日(3)）
- 朝②中学校に支那語新たに加はる
- 夕①各大学生の思想調査 文部省の対案
- 夕②あちらのはなし ダヌンチオ病む
- 18日（日）
- 朝②不況のおかげで試験地獄緩和か 中等校志願者は激減する模様
- 夕③ふじのねの「短歌」「書」 大沢雅休
- 夕③更生報告 利根郡月夜野屋旅館から(1) 綿貫六助（～1月25日(2)）
- 夕③家へかへる「短歌」(1) 茅野万理（～2月8日(2)）
- 夕③むさし野の冬 原沢柳志
- 夕③群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」 雪降りあした、冬晴れ 青柳花明
- 夕③童話劇と児童劇 藤島誠夫
- 19日（月）

- 朝② 共産主義者の入国禁止を法律を以て決定  
せよと米国下院の調査委員会で報告
- 20日(火)  
朝② 映画を主体の実際教育にいよく手を染めるか
- 21日(水)  
朝③ 農村婦人向上に「婦人講座」を開設  
朝③ 癩病根絶を期して民間に「癩予防協会」  
朝④ 探偵読本「小説」(朝) 向日葵の秘密(1)  
陸、橋場鮎刺  
丘晃一郎、住谷磐根、中西洋々、井上尚  
夕① 婦人公民権獲得の会合へ貴族院側は不参加  
反対の表明だと婦人連の大憤慨
- 夕① ベルリンの日本画展 開会式の盛況  
夕② 新春を飾る白日会洋画展へ 本県出身の入選者顔触 何れも上毛美術展の御常連
- 22日(木)  
夕② 家政女学校に専攻科開設 現在の生徒数では職員に余裕  
夕② 北平から 松村琴翁  
夕③ 「漫画」 久保庭大三郎、山口豊専、一二三、難波盛夫 へ上毛漫画サロン
- 夕③ 近代都市変相図  
23日(金)  
朝③ 音楽協会や手工協会を組織  
朝③ 明治の先覚新島先生記念日 けふ此の偉人の経歴を市内各小学校で校長から談話
- 24日(土)  
夕① 勅題唄預選の光栄に浴した本県の井上重徳氏 大正三年にも「社頭杉」を詠進して預選  
夕① 新年歌会始の御儀 勅題「社頭の雪」を被講／あさきよめ「短歌」 井上重徳  
夕③ 上級学校への入学受験生に与ふ能力、資力を考へ人格養成に適す学校を選べ 三輪田元道(談)  
夕③ 風の電話「詩」 橋本暮村  
25日(日)  
朝② 高崎の名物男「野球の先生」美談 貧しい近所の大工の家族に米塩の資を贈る  
朝③ 女子実業教育振興研究会を組織計画 高崎実践女学校が主体となつて県下関係教員を糾合  
朝③ 本紙連載のお虎が淵 芝居になつて柳座で上演す 市川桃蔵一座脚色 前橋図書館 長佐藤錠太郎時代考証  
夕① 移住民には独身青年が好適 本県の移住希望者年々累加す 第一回を北海道へ送る  
夕① 全国富豪が秘蔵の日本古来の美術品 外人観光客に展覧計画  
夕② 映画の夕 萩町在郷軍人会の軍事思想普及  
夕② 亭主持ちの女教員を整理する 神奈川県 人道上的大問題とあつて女教員会から檄を飛ばして反対運動  
夕③ みぞれ、日かげ「詩」 栗原道子
- 夕③ 思ひ出すこと(1) 大沢要(〜2月22日)(3)  
夕③ 新春集「短歌」 新年を迎へて 鈴木木暮舟／元朝詠 小倉桑平／奥利根 岸とら  
を／山国の春 篠原三郎一  
夕③ 群馬童謡帖 群馬童謡詩人会「童謡」 汽車 青柳花明／つらら 小平房雄／山の小鳥 橋本暮村
- 26日(月)  
朝③ あこがれの日本に来て金髪美人、愛の受難 大間々町の裏町に愛児を友に亡夫を偲ぶ八木カタリーナ夫人の侘しき生活  
朝③ 江原俊夫氏逝く  
27日(火)  
夕③ 花柳病の惨禍 非人道的存在 社交的機関に花柳界を重要する悪風 廃娼聯盟委員 長松宮弥平(談)
- 28日(水)  
朝② 小学児童の希望に現はれる現代職業意識 断然尖端を行く美容師志願 飛行家、船員、記者、芸妓、芸人等々  
朝② 探偵小説で新手法の詐欺研究 全国を股に 官名詐称し横領 「偽刑事」 引続き取調  
朝③ 好評に鑑みて融和映画と講演 更に二月中に県下巡回  
夕③ 「漫画」 難波盛夫、田村辰三、佐藤信弘、前橋勝／「漫文」 吉井忠男 へ上毛漫画サロン
- 29日(木)  
朝② 選挙権年齢低下 婦人公民権附与 地方制

- 度改正案愈々提出 近く閣議決定の内容
- 朝②ナンセンス「村会の予行演習」 九十三  
才の老村長擁護苦肉 策強戸村小作人側  
の苦心
- 30日(金)  
朝②左翼劇団組織 赤化思想の宣伝を鳥取市  
の青年が計画 きのふ、記事掲載解禁
- 夕②郷土偉人の墓地に標識設置 その偉績を  
永く世人に伝へる 町村長へ調査万通牒
- 夕②出来た吾妻小唄 佐藤緑葉氏が選んだ山  
田泰三氏の作を町田氏が作曲
- 31日(土)  
朝③白百合会の歌
- 夕①まづ自治団体では完全に男女同権確認さ  
る 市町村会に婦人参政の実現近し
- 夕①ハロルド・ロイド今秋来朝す
- 夕③入学難は教育の禍根 伸びくゝと教育を  
受ける時期よ来れ 山脇房子(談)
- 夕③人間行為の精神状態による種々相
- 昭和6年(1931) 2月  
1日(日)  
夕③提灯に「俳句」「書」 高野香山
- 夕③知識階級と文学(1) 谷崎精二  
(2月8日②)
- 夕③ひそかなる樹木と木と空と「詩」 高橋  
昌吉
- 夕③義経信仰 星野菊巳
- 夕③睦月雑詠「短歌」 若穂緑
- 夕③県下文芸陣総合雑誌刊行上の打合せ 古
- 屋写真館で
- 2日(月)  
朝③八木カタリーナ夫人は日本式純情の女性
- 3日(火)  
朝②紀元の佳節に「女子青年団」発会 前橋  
婦人会十週年の記念事業 目下入会申込  
は五百余
- 朝②巡回融和映画の評判よろし 県社会課へ  
感謝の手紙やら融和具体策など投書
- 夕②都市農村に失業者充満
- 4日(水)  
朝③前年より減った県内の失業者 本年一月  
一日現在調査の推定数 三千七百二十四  
人
- 夕①制限付公民権に絶対反対を声明 婦人参  
政権獲得同盟各団体 婦選目ざして準備  
成る
- 夕③「漫画」 難波盛夫、山口豊専、弘坊、双  
葉陽一郎、吉江信一郎へ上毛漫画サロン
- 5日(木)  
朝③産児制限講演 高崎新生会で
- 朝③桐生婦人会 家庭教育講演
- 朝③児童のためによき読物を 前橋教育会に  
児童読物調査部 近く調査委員を決定
- 朝③壮丁教育に夜学開始 前橋教育会協議
- 夕②予想以上な山村の窮迫現状 民有林の保  
護助長を政府当局に陳情する
- 夕②水平社同人の蒙古へ移民計画 有馬伯の  
肝入りで数名は出発 結果を見て大規模
- に
- 夕②柔道は確に國家の為に必要 群馬柔道界  
の隆盛期待 代議士 宮川一貫
- 夕②関東各地の大親分検査さる 高尾山節分  
会を機会に大賭博の開帳準備中 手入れ
- 夕②玉燐会主催音楽会 伊勢崎高女で
- 6日(金)  
朝③乃木將軍の講演会 遺物を陳列す ※綿  
貫晴文
- 夕①全国で二十七県は女の有権者が多い 婦  
人公民法案が通過した場合には女の鼻息  
が荒くならう
- 夕②農村経済の衰微 回復の策なし 低資融通  
方法の改正が実現せぬ限り農村永久に救  
はれず
- 夕②早川雪洲が女優学校を設立 第一期生徒  
五十名を募集して情操の涵養から取掛る
- 7日(土)  
朝③孝子節婦と優身自治体を表彰
- 夕①右翼団体の全国的戦線統一
- 夕②沼田町に婦選同盟を設立
- 8日(日)  
朝③前橋市教育会 教育映画の利用近く実現  
されん
- 夕③三人の裸女「画」 児島善三郎
- 夕③雑誌「全線」の発行に際して 萩原恭次  
郎
- 夕③如月集「短歌」 教へ児、みごもり妻 鈴  
木葦舟／磯道 吉井忠男／スキーの歌

古いノートから 卯美野／家へかへる  
(2)、城山堂にて、赤城山遠望(街頭譜)

茅野万里

11日(水)

朝③一宮貫前神社をフィルムに 全県下に宣

伝、敬神思想発揚 明年末には式年祭

夕②「乃木大将」講演 高崎十五聯隊で

12日(木)

朝②婦選獲得の叫び 大示威運動を全国、各団

体一千余名の女性代表者が十四日東京に

会同す

朝②前橋婦人会の女子青年部発会式きのふ

臨江閣で華々しく

朝②宮城氏を招聘 箏曲大演奏 前橋婦人会が

主催で三月一日群馬会館で開会

朝②きのふから婦人講座を藤岡町で開設 二

木博士も来講

朝③「漫画」 近藤政士、難波盛夫、田村辰

三、新保菊次、弘坊 へ上毛漫画サロン

朝④お獅子にさらはれた子 杉よし江、モリ

ヲ「画」

13日(金)

朝②桐生市教育会 乃木將軍講演と遺物展覧

朝③農業を中心に郷土講習会 岡部栄信氏の

肝入りで丹生村中堅青年の変つた試み

夕①全日本婦選大会のデモ、突然禁止さる

是に代る合法的妙案考究

夕③入学試験前、心身の衛生的注意 準備期の

疲労は恐るべし

夕③麻雀雑記 小松時雨

〈麻雀欄〉

14日(土)

朝②不景気対策 学術研究が解決 藤沢博士の

学術万能論

朝③国産愛用の童謡と標語入賞 一以下そ

れぐ決定 本県では大槻嬢が選外佳作

に

夕③受験準備生への食事後の注意 いくら勉

強したく共三十分は筆を描く事

夕③時代相を見せて変り雛数種 干支に因ん

だ物や社頭の雪等

15日(日)

夕③作家生活の悲哀(1) 畑耕一

(2) 2月22日(2)

夕③前橋公園・冬、風の音「詩」 岡部宇一

郎

夕③白髪「詩」 栗原道子

夕③いたつき「短歌」 岸とらを

夕③往訪松雄君に伴はれ境街の宅を訪ふ

「短歌」 松浪幸三郎

夕③嫁ぎ来て「短歌」 松波志ま子

夕③落葉「短歌」 小川俊一

17日(火)

朝②高山彦九郎の短刀と書面の行方 伊与久

家へ嫁ぐ妹へ与へたもの 高山神社新築

の挿話

夕①海外事情 講演と映画の会 世良田村エス

パニア語学校主催 群馬会館大ホールで

夕②忘れられた芸術 祭文を今晚放送 演題は

国定忠治の義侠 放送者は本県出身の群  
馬川父子

18日(水)

朝②高山先生が妹に与へた短刀 近世の名工

水心子の作 今では深谷の花山氏が所蔵

朝②「群馬博物館」準備着々と進む 県神職

会の郷土資料陳列所会場認可すれば開館

夕①野口英世博士伝記を出版 世界を遍歴し

て材料を集めたエックス・スタイン博士の努

力

夕①児島高德の新史蹟発見 美作で古文書と

墳墓現はる 太平記とは趣を異にす

夕③「漫画」 難波盛夫、田村辰三、佐藤弘

坊、林勝治、山口豊専、久保庭大三郎

へ上毛漫画サロン

19日(木)

朝②趣味の人高橋香山氏が監督書記に昇進

夕③履き違へ易い時間節約観念 無茶苦茶に

働いても自覚ある時は送れぬ 大妻コタ

カ(談)

20日(金)

朝②争はれぬ血 采女村の博徒連 流石は国定

忠治の養父の出生地 年貢の納めどき十

五名送局

朝③小供の頭に響いた不景気風の冷たさブ

ラヂル渡航志望も二名現はる 求職傾向

が全く一転

朝③ベルリンの日本画展大好評 欧州全土で

開催して欲しいと申込みが各国から殺到

21日(土)

朝③宮城道雄氏箏曲演奏会 三月一日群馬会館で全市の人気を集める催し

朝④探偵読本「小説」(4)設計図の紛失(1)

丘晃一郎、住谷磐根、中西洋々、井上尚陸、橋場鮎刺 (3月18日(18))

夕③自己職業の選択に対する指導法 その指導の目標は何か 東京市社会教育主事 稲葉幹一(談)

22日(日)

朝③昔恋しい聯隊で元少尉が講演 現在は岩鼻校の教員真下君が武士道精神の蘊蓄を

朝③高崎観音山を公園にする

夕③家族「画」 里見膳蔵

夕③帰り路で「詩」 藤原柘之輔

夕③折にふれ 市丸武二

夕③五井の浜唄「民謡」 市丸武二(作謡)

立花秀助(作曲)

夕③瞳と自愛「詩」 田島克

夕③上毛歌壇「短歌」 角田蒼穂「選」 ことも

ごもの心 河原峽司/雪晴空 卯美野/偶感、児と遊ぶ 星野臥春/郷愁、秋野に転びて 中沢豊雄/雪 南條しげ子

23日(月)

朝③春をよそに子供の国を脅やかす試験地獄 講話社少年店員採用と日を同じうして 講話社少年店員採用の入学考査

男女両師範附属の入学考査

朝③家庭愛殿堂を作るために盲啞学校と女子青年団が協力 マツサーヂの講習会

24日(火)

朝②女子にして公職に在るもの 全国では六万九千七百三十九人きのみ、内務省で発表

朝③手工教育振興に教授細目成る 職業教育指導に好資料 前橋乙種学事会編新年度から使用

朝③少年職業読本頗る好評 朝③裁縫に創作能力 養成するには何うするか 女子実業教育研究会の答申決定

朝③乃木將軍遺物展 臨江閣別館で

朝③家庭生活の合理化に講習会 佐波郡聯合処女会で 三月十七日から五日間開く

夕②北平より 松村琴翁

夕③寝小便是病氣 母親の躰けが第一 本人の心遣ひは病氣を増す

夕③乳児は泣いた後には体温が多少上る 乳児の体温の変化 大人より普通高い 三田谷博士(談)

夕③農村には園芸科 都会に商工科 都鄙画一的な教授方法を排して 小学教育實際化を図る

夕①全世界の芸術家今秋東京に集る

夕②国民融和週間 本県で実施の計画 講演に、映画に、懇談会に 三月十日から十六日までの一週間

夕③「漫画」 山口豊専、佐藤弘坊、久保庭大 三郎、難波盛夫、田村辰三、新保菊次、

一三三

上毛漫画サロン

26日(木)

朝③国際聯盟で高崎の私娼調査 五月人身売買調査委員来朝し 関東一の柳川町界限

夕②小学校の生徒が社会科学研究 釜山の公立普通学校で 盟休事件にからんだ過激な要求事項

夕②チャップリンがいよゝく日本へ ハルビン經由で来るか 露西亜ではもう大歓迎の準備

27日(金)

朝③高崎郊外に穴居民族の遺跡 中学生の偶然の石器発見が端緒 石皿、燧石、石斧等々

夕②中学教科目に武道科独立 武徳教師会も運動に 校長会議へ沼中の提案可決

夕②学生、自由労働者国際デモを敢行 二百余名直に検束さる

夕②世界の公娼制度 廃止問題にからんで内務省で調査した数字

夕③結婚に際し女性としての覚悟 自己家庭、社会の見地から相手を撰択せよ 棚橋源太郎(談)

夕③結婚年齢と性道德の緩み 経済的關係が自然に良風を破壊する

夕③結婚年齢と性道德の緩み 経済的關係が自然に良風を破壊する

28日(土)

朝②聯合婦人会を組織 婦人参政に備へる 従来の凡ゆる婦人団体を一丸にして政治教育を併せ行ふ

朝②聯合婦人会を組織 婦人参政に備へる 従来の凡ゆる婦人団体を一丸にして政治教育を併せ行ふ

朝②聯合婦人会を組織 婦人参政に備へる 従来の凡ゆる婦人団体を一丸にして政治教育を併せ行ふ

- 朝③新学期からは一脈の新味 中学生情操教育に新設さるる唱歌科と作業科
- 夕②積雪深く職業なく草津湯の沢の癩病患者 餓死線上に死をまつもの四十九名 内務大臣へ救済陳情
- 昭和6年(1931) 3月
- 1日(日)
- 朝③箏曲界の権威 宮城氏演奏 前橋婦人会の主催でけふ、群馬会館大ホールに於て
- 夕①問題の婦人公民権 獲得の曙光漸やく見ゆ 貴族院の通過も有望視せらる
- 夕②赤ん坊を連れては活動も芝居も観られぬ 警視庁の興行取締規則改正案 興行者側は反対だが結局は実施されやう
- 夕③姉と花「画」 清水刀根
- 夕③日本美術 現代日本画家創作品展覧会 在ベルリン、於プロシア美術院 一九三一年一月二十九日発行イリストリルテ・ツアイトング所掲 野村孝太郎、豊田宗作(共訳) オット、キウンメル
- 夕③日本美術 後記 豊田
- 夕③殉情 楳桐介
- 夕③月の暈「詩」 栗原道子
- 夕③上毛歌壇「短歌」 角田蒼穂「選」 朝床に 卯美野／前橋 湯根正之助／去れる日に、いさかひ 南條みゆき／雑詠 井上碧村／二月の歌 岸とらを
- 3日(火)
- 朝③地久の佳節に母の日会 日本聯合女子青年団の催し 本県も意義ある計画
- 朝③映画「孝女みえ」の出演俳優決定す 主役には帝キネの杉村千恵子 近郊でロケーション
- 夕②強戸村会 小作側に大打撃
- 夕②入場者二万人買約三十点 大成功だった 伯林日本画展三月一日いよ／閉会
- 4日(水)
- 朝②洋装断髪の効果能を説く高橋翁のモダン演説 婦人公民権案に八十六翁の理解ぶり
- 朝②婦人公民権案大体通過か 研究会は自由問題に他派も是れに倣ふらしい
- 朝②大塚保治氏逝く 群馬県出身の文学博士 夫人は女流文士学界の先覚者
- 朝②働らく女性 女学校卒業生も未来のナイチンゲールを志して健気にも職業戦線へ進出
- 夕①学生の選挙権問題 政府、枢府、意見全く相反す
- 夕①メーデーに準じた大デモを八日東京で決行する
- 夕③「漫画」 山口豊専、難波盛夫、一二三、須田十力、久保庭大三郎、林勝二／「漫文」 荒木武 へ上毛漫画サロン
- 5日(木)
- 夕①婦人公民権案 形勢、樂觀を許さず研究会内に修正説起る
- 夕③春は悩まし 性的神経衰弱その療法と生殖神経を強める食物 長浜繁(談)
- 6日(金)
- 夕②伊藤道雄氏の能行脚「写真」
- 7日(土)
- 朝②桐生教会で山本博士講演
- 朝③桜花と妍を競ふ県下華道大会 本社主催で第二回の催し
- 8日(日)
- 朝②天皇陛下、御親しく新宮殿下に初の御対面
- 夕②日本宗教界の代表者集る 初夏の外苑で平和会議
- 夕③万葉人とその忠誠 米倉寥
- 夕③浅草漫筆 蓼喰う虫、滑稽歌、万葉一首 早水城春
- 夕③早春賦「短歌」 田島武夫
- 夕③トヨの話(1) 星野菊己(〜3月29日(3))
- 夕③童話の春 清水房之丞
- 9日(月)
- 朝②チャップリン日本訪問 記者団に声明す
- 朝②山本博士講演
- 10日(火)
- 朝②郷土博物館開館に行なやみ 群馬会館内の借室認可なく 折角の企ても文消か
- 夕①婦人公民権案或ひは握り潰しか 然らずんば女世帯主に 局限した範囲に修正されさうな形勢
- 11日(水)
- 朝②打続く不況に相愛館も経営難 遂に現事務所を引払ひ 最も必要な時期に皮肉な

## 運命

- 朝③前橋各校で日露戦役の訓話  
夕③「漫画」 難波盛夫、田村辰三、一二三、佐藤弘坊 へ上毛漫画サロン  
12日(木)
- 朝②志士の末孫流浪の旅 高山正行(三二)  
朝③相愛館江原女史の後任 菊池女史招聘  
朝③県主催「融和講演」映画「村に照る陽」  
其他数巻を映写  
夕③時代の要求は小幅織から大幅へ衣服に  
対する無駄な因襲を一掃せよ  
夕③不良児は殆んど低学年退学者 学力も低  
学年程度 感化院にての調査  
13日(金)
- 夕①十三日、めでたき御七夜 新宮様の御命名  
式厳かに行はれる其の日の式典  
14日(土)
- 朝②春季大祭を機会に貫前神社国宝其他を映  
画にして県の内外に宣伝紹介する計画  
朝②融和デー講演と映画会  
朝③同胞相愛を意識 県民和親の実を結び共  
存共栄を実現したい 今十四日の第三回  
国民融和デーに際して堀田本県知事語る  
朝③演武の猛者 押すな、押すな 当日の盛況  
を予想さるゝ桐生の武徳地方大会  
朝③中村博士講演 新里村祥雲寺で  
夕③婦人公民権案が議会を通過せば家庭の経  
済と子供の教育に力を注いで欲しい 吉  
岡弥生(談)
- 夕③正確な買物 量目買の習慣 家庭経済は細  
心に半端は避けられたい  
夕③映画春秋 映画展望  
15日(日)
- 朝③春のステップ 街頭に働くおらが春(9)  
どん底生活にも訪るゝわが世の光り 映  
画になる高崎の孝女富沢みえ子  
朝③「孝女みえ」表彰は時機を得ぬ 斉藤訓  
導と母親すいを表彰 高崎東校で協議会  
夕②茂左衛地蔵 二十一日祭典  
夕③飯島鶴子氏の遺詠を読む(1) 浦上山夫  
(3月29日(2))  
夕③夜業風景「詩」 興津次郎  
夕③興行師と芸術 藤島誠夫  
夕③上毛詩壇「短歌」 角田青穂「選」 くさ  
ぐさ 茅野万理/松風 小川俊一/恋愛  
序曲 春海代/病床雑詠 里尾吉之助/  
春来るらし 須田健
- 16日(月)
- 朝②政治には無関心 共産党に対する同情説  
にチャップリン君恐縮して取消  
朝③国産愛用標語童謡 本社特選十名へ商品  
発送す 人気、愈々あがる華道芸術の殿  
堂 県下諸流華道 大会近づく  
18日(水)
- 夕②貫前神社の映画は来月五日頃に一宮町で  
公開  
夕③「漫画」 難波盛夫、山口豊専、一二三、  
林勝二、佐藤弘坊 へ上毛漫画サロン
- 19日(木)
- 朝④探偵読本「小説」(34) 本牧綺譚(1) 丘晃  
一郎、住谷磐根、中西洋々、井上尚陸、  
橋場鮎刺 (5月1日(34))  
夕①奥蒙古地方へ新天地開拓 四十七歳の老  
書生を団長に拓大・新卒業生の一団  
夕①中華民国工芸展 十七日から東京府美術  
館に於て  
20日(金)
- 夕②雄々しく生活戦線第一歩 高崎市内の女  
学校卒業生に反映する近代世相  
夕②最近調査の全国小作争議 小作料値上反  
対や一時減額要求が多い  
夕③初入学の用意 必要品は何でせう なるべ  
く質素で耐久力の強い物  
21日(土)
- 朝③春にそむいて 失業者は増加傾向 県内失  
業者四千三百人  
朝③音楽舞踊の大会をみどり会主催で群馬会  
館に開く  
夕②幸福にしてやるとして同室の狂人を絞殺  
松沢病院で患者同志の殺人事件  
夕②音楽学校で学生十三名処分 休暇中で学  
生側泣寝入  
22日(日)
- 朝②時代劇の転向時代劇は果して衰微する  
ものであらうか マキノ映画監督 根岸  
東一郎  
朝②聖徳太子時代端緒の彼岸会縁起 窪川旭



丈師のお話

朝②春はシネマから 各社の陳容成つて内地  
作品映画山積

朝②婦人公民権案批判 地方自治制への女子  
の自由なる活動を制限せんとする政府の  
婦人公民権には絶対に反対す 市川房枝  
(談)

朝②盛観を期待さるゝ本社主催華道大会

朝②「漫画」 難波、一二三

夕③未明「彫刻」 持木貞一

夕③文学と社会の聯關 十一谷義三郎

夕③紅椿「詩」 大槻三好

夕③春雨(民謡集あけぼのより) 「民謡」

益子徳三

夕③少女果物を捧ぐ「画」 熊岡美彦

夕③新らしきソヴェート婦人を語る 中条百

合子

夕③欧洲音楽断想 近衛秀麿

夕③雑詠「短歌」 羽鳥健男

夕③前橋停車場「画」 堀口次郎

23日(月)

朝②婦人公民権案 上院通過見込なし 政府当  
局もやつきの運動はしてゐるが風前の燈

火の如き運命

朝②中途半端なもの 握り潰し結構と市川房

枝女史は語る

朝②紅唇、火を吐く 婦選の叫び きのふ同盟

本県支部記念講演 臨江閣別館で盛大に

八木橋きい子、武田睦子、坂本真琴、藤

田たき、金子しげり、市川房枝(レコー

ド講演)

朝③舶来ナンセンス「漫画」(1) 小木公生

(4月14日(20))

24日(火)

朝②農村国策樹立の建議案を可決 きのふ貴  
族院本会議で

朝②大阪は商工地 綜合大学を設立の必要を

認めずと山田氏、文相に喰つてかかる

朝②大阪帝大創設費 つひに分科会に移す

案の前途殆んど絶望視さる

朝③八幡太郎が功名首を埋めた 八幡平から

出た鬮體の伝説 供養して再び埋葬

朝③竹久夢二画伯作品展 新宿三越で

朝③前橋在郷軍人聯合会組織いよゝく 確定認

可を受けて近く発会式挙行の運び

夕①今東光氏の仏教青年聯盟 四月四日発会

式

夕①東京府に廢娼同盟 組織会開く

夕②白沢村平出の模範少年会 期待される会

館の建設

夕③教師より新入学児童を持つ父兄へ 東京

女子高等師範学校教官 徳田進(談)

25日(水)

朝②婦人公民権案 絶対多数で否決す 高橋翁  
は例に依つて賛成論一席 廿四日貴族院

本会議

朝③海外移民奨励に「拓務協会」創立 廿四

日準協議会の形式で審議する 農村行詰

りの打開策

夕①公娼制度廃止案は希望決議を附して衆議

院委員会で否決す

夕①メノコ唄の初放送 札幌放送局で

夕③「漫画」 難波盛夫、一二三、佐藤弘信、

久保庭大三郎、酒井米三、鈴木藤一郎

26日(木)

朝②大阪帝大費条件つきで可決 研究会の総  
会で決定

朝③映画「孝女みえ」 近く高崎で公開 廿四

日撮影終つて目下編輯中

夕②雑誌「社会連帯」発行 県社会事業協会

の新事業に 五月から機関誌創刊

夕③婦選と郷土 婦人公民権を握る前に予備

智識の吸収が緊要 婦選獲得同盟群馬支

部理事 八木橋きい(談)

27日(金)

朝③レプラ部落救済一般の同情集る 吾妻鉾  
山従業者から百円寄附 近く同情資金を

募集

朝②盛観を予想される県下華道大会 斯道の

大家悉く出品す

28日(土)

夕③醜いあばたづら 種痘は春先きに 近年の  
天然痘は青壮年者に多い 内務省衛生局

(談)

29日(日)

夕②あちらのはなし チャップリン君シヨ  
翁に会見

夕② 法学士弁護士 医学博士に畑ちがひの研  
究論文が九大教授会を通過する

夕③ 外套を着た妹の像「画」 塚本茂

夕③ たでた詩心「詩」 藤居みはる

夕③ ろうそく、草履「詩」 栗原道子

夕③ 凧 大沢要

31日(月)

朝③ 高崎修養会で思想善導の対策 最近の複  
雑な世相を鑑みて

夕② 新に生れる社会民衆婦人同盟 安部夫人  
を中央執行委員長に 来月廿九日大会を  
開く

夕③ 性的犯罪や自殺・家出の多い春先 先づ春  
先の病気とその衛生の注意 警視庁衛  
生技師 金子準一(談)